

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
143	網島心中	参考	西沢一鳳		伝奇作書		①天保14～嘉永4年 ③文楽協会山城文庫に写本あり
	* 中大夫（初世竹本）	評判 記			義太夫執心録		③『日本庶民文化史料集成』第7巻人形浄瑠璃（昭和50年10月・三一書房・藝能史研究会＝編）等に所収
	評釈『天の網島』	研究	坪内逍遙		日本評論	第79号	①明治24年カ ④日本評論社 ③明治23年12月書く
早稲田文学					①明治28年1月 ④早稲田文学社		
文学その折々					①明治29年9月 ④春陽堂		
近松之研究					①明治33年11月 ④春陽堂		
逍遙選集					第8巻 ①大正15年10月 ④春陽堂 ③昭和52年8月逍遙協会より復刊		
	『天の網島』合評	研究	近松研究会		早稲田文学	第7年 第1号	①明治30年10月 ④早稲田文学社 ③近松研究第八会（伊原青々園・坪内逍遙・鉄笛・後藤宙外・島村抱月・操山・綱島梁川・佐藤迷羊・水谷不倒）
					近松之研究		①明治33年11月 ④春陽堂
					逍遙選集	第8巻	①大正15年10月 ④春陽堂 ③昭和52年8月逍遙協会より復刊
	近松/評釈天の網島 全	研究	佐々政一		近松/評釈天の網島 全		①明治34年7月 ④明治書院 ③近代文学評釈第2編
	朝太夫節 附新橋芸者の滑稽談	劇評	鬼太郎		演芸世界	第13号	①明治35年3月 ④演芸世界社 ③明治35年3月以前、東京・芝の琴平亭所演の竹本朝太夫の「紙屋」評
	小 春/治兵衛心中墳	史跡	春塘		演芸世界	第15号	①明治35年5月 ④演芸世界社

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
284	附録 語方の実例 天網島時雨炬燵 紙屋の段	演出	岡鬼太郎		義太夫秘訣		①明治36年3月 ④服部書店 ③明治39年6月富田文陽堂より第2版、大正10年9月野村青雲堂より第4版発行
					岡鬼太郎花柳文芸名作選	9義太夫秘訣	①昭和55年10月 ④鳳書院 ③明治36年3月服部書店版の復刻
			近世文芸研究叢 書刊行会＝編		近世文芸研究叢書 第二期芸 能篇25 浄瑠璃5		①平成9年8月 ④クレス出版 ③岡鬼太郎『義太夫秘訣』、杉山其日庵『浄瑠璃素人講 釈』を収録
	歌舞伎座の文楽一座	劇評	芹影女		歌舞伎	第40号	①明治36年9月 ④歌舞伎発行所 ③明治36年8月東京歌舞伎座所演
	時雨炬燵 紙屋の段	注釈	蓼沼祐太郎・山 沢簡＝編		義太夫難句詳解	前編	①明治37年2月 ④田沼書店
	時雨の巨（ママ）燵 紙屋の段に就いて （人形の紙治の型）	解説	竹本其太夫	鶴沢名門二	浄曲/百段語り物の訳		①明治39年4月 ④其中堂書店
	時雨の炬燵 紙治の段	芸評	岩田徳義		東京/大阪義太夫芸評	上巻	①明治40年12月 ④教育奨励会 ③竹本朝太夫評
	天網嶋時雨炬燵（紙治内の場）	解説 梗概	劇道研究会＝編		古/今名劇二百種	第1集	①明治44年6月 ④金港堂書籍
	近松座（大正元年11月1日）	劇評	金太楼		義太夫年表 大正篇		①昭和45年1月 ④「義太夫年表」（大正篇）刊行会 ③大正1年11月近松座所演。「朝日新聞」より転載
488	近松座の第六回興行	劇評			浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第111号	①大正1年11月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③大正1年11月近松座所演
	文楽座と近松座	劇評	馬脚生		演芸倶楽部	第1巻 第9号	①大正1年12月 ④博文館 ③大正1年11月近松座所演
	越路太夫の七日	劇評	鬼太郎		演芸倶楽部	第2巻 第1号	①大正2年1月 ④博文館 ③大正1年12月東京新富座所演

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	第三種 * 天の網島時雨炬燵 紙屋の段	梗概 批評	徳島県教育会		義太夫調査書		①大正2年4月 ④徳島県教育会 ③大正2年7月増補訂正再版
	御霊文楽座（大正2年4月1日）	劇評			義太夫年表 大正篇		①昭和45年1月 ④「義太夫年表」（大正篇）刊行会 ③大正2年4月御霊文楽座所演（短評）。「毎日新聞」より転載
	大阪の春興行と四月の文楽座	劇評	近松秋江		演芸画報	第7年 第5号	①大正2年5月 ④演芸画報社 ③大正1年11月近松座・2年4月御霊文楽座所演
	お名残の摂津大掾	劇評	馬脚生		演芸倶楽部	第2巻 第5号	①大正2年5月 ④博文館 ③大正2年4月御霊文楽座所演
	文楽座の名残興行	劇評			浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第118号	①大正2年5月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③大正2年4月御霊文楽座所演
	有楽座の近松座 初日の評判	劇評	不知黄子		演芸倶楽部	第2巻 第7号	①大正2年7月 ④博文館 ③大正2年6月東京有楽座所演
	近松座（大正3年5月5日）	劇評			義太夫年表 大正篇		①昭和45年1月 ④「義太夫年表」（大正篇）刊行会 ③大正3年5月近松座所演。「毎日新聞」より転載
	近松座五月興行	劇評			浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第131号	①大正3年5月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③大正3年5月近松座所演
446	講壇 心中天網島（時雨の火燵の段）	演出	月廼舎掬水		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第139号	①大正4年1月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社
	御霊文楽座（大正4年4月18日）	劇評			義太夫年表 大正篇		①昭和45年1月 ④「義太夫年表」（大正篇）刊行会 ③大正4年4月御霊文楽座所演。「朝日新聞」「毎日新聞」より転載
			水島生				③「朝日新聞」より転載

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
446	文楽座の不聞評	劇評	黄風生		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第143号	①大正4年5月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③大正4年4月御霊文楽座所演
	小春治兵衛	梗概	岡本綺堂		近松情話		①大正6年1月 ④新潮社
					近松物語		①昭和12年12月 ④新潮社 ③新潮文庫266
							①昭和31年1月 ④青蛙房 ③復刻版
259、569	御霊文楽座（大正6年3月15日）	劇評	玖琉盤		義太夫年表 大正篇		①昭和45年1月 ④「義太夫年表」（大正篇）刊行会 ③大正6年3月御霊文楽座所演。「大阪朝日新聞」（大正6年3月19・21～23日）より転載
446	文楽座/天網嶋問答傍聴録	評論	月廼舎掬水		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第165号	①大正6年3月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③大正6年3月御霊文楽座所演
446	文楽座の三月興行を見る	劇評	御代司		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第166号	①大正6年4月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③大正6年3月御霊文楽座所演
259	芸界大阪物語 * 文楽の天網島	演出	玉谷五十一		新演芸	第2巻 第4号	①大正6年4月 ④玄文社 ③大正6年3月御霊文楽座所演
力105、 143、 188、642	文楽座の「天網島」	演出	美野一白		新演芸	第2巻 第5号	①大正6年5月 ④玄文社 ③大正6年3月御霊文楽座所演
188	第三章 語り方の理論 理論の応用＝先人の遺訓 * 文句研究の一例『紙治』の 「ヤアーハア」 * 近松原作の復旧	芸談	秋山木芳（清）	(3) 竹本越路 太夫	義太夫大鑑	下巻	①大正6年12月 ④満州日日新聞社
			近世文芸研究叢 書刊行会＝編		近世文芸研究叢書 第二期芸 能篇23 浄瑠璃3		①平成9年8月 ④クレス出版 ③秋山木芳『義太夫大鑑』を収録
	御霊文楽座（大正7年11月10日）	劇評	玖琉盤		義太夫年表 大正篇		①昭和45年1月 ④「義太夫年表」（大正篇）刊行会 ③大正7年11月御霊文楽座所演。「朝日新聞」より転載

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	心中天網島	考証	三田村鳶魚		芝居の裏おもて		①大正9年3月 ④玄文社
					三田村鳶魚全集	第18巻	①昭和51年5月 ④中央公論社 ③『芝居と史実』『芝居の裏おもて』を収録
					芝居の裏おもて		①平成10年3月 ④中央公論社 ③鳶魚江戸文庫19（中公文庫）。朝倉治彦＝編
	御霊文楽座（大正9年6月9日）	劇評	玖琉盤		義太夫年表 大正篇		①昭和45年1月 ④「義太夫年表」（大正篇）刊行会 ③大正9年6月御霊文楽座所演。「朝日新聞」より転載
188、284	天の網島時雨の炬燵 茶屋場の段	演出	杉山茂丸（其日 庵）		黒白	51号	①大正10年6月 ④黒白発行所
					浄瑠璃素人講釈		①大正15年11月 ④黒白発行所 昭和50年3月鳳出版より復刻
			近世文芸研究叢 書刊行会＝編		近世文芸研究叢書 第二期芸 能篇25 浄瑠璃5		①平成9年8月 ④クレス出版 ③岡鬼太郎『義太夫秘訣』、杉山其日庵『浄瑠璃素人講 釈』を収録
	心中紙屋治兵衛 上の巻 茶屋 場の段		杉山其日庵＝著 ／内山美樹子・ 桜井弘＝編		浄瑠璃素人講釈	(上)	①平成16年10月 ④岩波書店 ③岩波文庫。注釈付載
	御霊文楽座（大正10年10月2 日）	劇評			義太夫年表 大正篇		①昭和45年1月 ④「義太夫年表」（大正篇）刊行会 ③大正10年10月御霊文楽座所演。「毎日新聞」より転載
	文楽座の直評	劇評	鞍馬山大天狗		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第207号	①大正10年11月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③大正10年10月御霊文楽座所演
	小はる/治兵衛心中天の網島	梗概	桜井鷗村（彦一 郎）		近松世話物語		①大正10年12月 ④丁未出版社 ③解題付載
224	心中天網島	解説	木谷正之助（蓬 吟）＝編著		大近松全集	第1巻	①大正11年4月 ④大近松全集刊行会 ③本文・解説・「近松門左衛門伝」付載

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	大阪中座の「心中天網島」を見る	参考 合評	岡鬼太郎・岡村 柿紅・岡田八千 代・小山内薫・ 川尻清譚・久保 田米齋・久保田 万太郎・佐竹守 一郎・三宅周太 郎		新演芸	第7巻 第11号	①大正11年11月 ④玄文社 ③大正11年10月中座所演の原作による歌舞伎評
	御霊文楽座（大正11年11月19日）	劇評			義太夫年表 大正篇		①昭和45年1月 ④「義太夫年表」（大正篇）刊行会 ③大正11年11月御霊文楽座所演。「毎日新聞」より転載
284	小春/治兵衛時雨の炬燵紙 屋内の段	演出	杉山茂丸（其日 庵）		黑白 浄瑠璃素人講釈	74号	①大正12年5月 ④黑白発行所 ①大正15年11月 ④黑白発行所 昭和50年3月鳳出版より復刻
			近世文芸研究叢 書刊行会＝編		近世文芸研究叢書 第二期芸 能篇25 浄瑠璃5		①平成9年8月 ④クレス出版 ③岡鬼太郎『義太夫秘訣』、杉山其日庵『浄瑠璃素人講 釈』を収録
			杉山其日庵＝著 ／内山美樹子・ 桜井弘＝編		浄瑠璃素人講釈	(上)	①平成16年10月 ④岩波書店 ③岩波文庫。注釈付載
	御霊文楽座（大正14年10月1日）	劇評			義太夫年表 大正篇		①昭和45年1月 ④「義太夫年表」（大正篇）刊行会 ③大正14年10月御霊文楽座所演（短評）。「毎日新聞」 より転載
	文楽三題 二、十五年八月の文楽	劇評	三宅周太郎		演劇評話		①昭和3年3月 ④新潮社 ③大正15年8月東京歌舞伎座所演
	小春治兵衛	解説 書下 し	渋谷吾往齋		劇と史実 日本演劇物語史		①昭和2年4月 ④聚文館 ①昭和15年1月 ④内外出版社 ③『劇と史実』の改題復刊

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	心中紙屋治兵衛 新地茶屋の段	演出	杉山茂丸（其日庵）		黑白	121号	①昭和2年11月 ④黑白発行所
	増補 浄瑠璃素人講釈 心中紙屋治兵衛 新地茶屋の段		杉山其日庵＝著 ／内山美樹子・ 桜井弘＝編		浄瑠璃素人講釈	（下）	①平成16年11月 ④岩波書店 ③岩波文庫。注釈・解題・解説・人名索引付載
	心中紙屋治兵衛 紙屋内の段	演出	杉山茂丸（其日庵）		黑白	122号	①昭和2年12月 ④黑白発行所
	増補 浄瑠璃素人講釈 心中紙屋治兵衛 紙屋内の段		杉山其日庵＝著 ／内山美樹子・ 桜井弘＝編		浄瑠璃素人講釈	（下）	①平成16年11月 ④岩波書店 ③岩波文庫。注釈・解題・解説・人名索引付載
	近松門左衛門 39回連載	研究	怠仏		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第266～304号	①昭和3年2月～6年8月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③第三章生涯の著作中昭和5年5月第291号に天網島の記事
	文楽新聞評抜粋 二、昭和三年十二月 *新橋演舞場 その第四回	劇評	三宅周太郎		文楽之研究		①昭和5年6月 ④春陽堂 ③昭和3年12月東京新橋演舞場所演（一言）
	文楽新聞評抜粋 四、昭和四年十二月 *新橋演舞場 その第二回 「河庄その他」	劇評	三宅周太郎		文楽之研究		①昭和5年6月 ④春陽堂 ③昭和4年12月東京新橋演舞場所演
	文楽の浄瑠璃	劇評	安部豊		演芸画報	第24年 第9号	①昭和5年9月 ④演芸画報社 ③昭和5年8月17日東京東京劇場所演（短評）
	「心中天の網島」冒頭の歌謡について—西洋歌謡と日本歌謡との関係—	研究	田中稔		國學院雑誌	第36卷 第10号	①昭和5年10月 ④國學院大學
	問題は土佐の九段目	劇評	石割松太郎		演芸月刊	第20輯	①昭和6年2月 ④演芸月刊社 ③昭和6年1月四ツ橋文楽座所演
446	文楽初春興行聴書	劇評	山口の信心生		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第300号	①昭和6年3月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和6年1月四ツ橋文楽座所演
	文楽座東京引越興行	配役			浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第304号	①昭和6年8月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和6年7月東京明治座所演、配役のみ
224	原作の「河庄」	芸談	(6) 竹本土佐 太夫		演芸画報	第25年 第8号	①昭和6年8月 ④演芸画報社

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	古靱の「合邦」完成	劇評	徳田秋声		演芸画報	第24年 第9号	①昭和6年10月 ④演芸画報社 ③昭和6年9月東京帝国劇場所演（短評）
	浄瑠璃ゆかりの探訪記 心中天の網島紙治小春	史跡	幽隣庵		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第306号	①昭和6年11月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社
	小春治兵衛書崩し 7回連載	解釈	涙香散人		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第306～312号	①昭和6年11月～7年6月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③「心中天網島」を書下した物
	総動員の人形浄瑠璃	劇評	安部豊		演芸画報	第28年 第1号	①昭和9年1月 ④演芸画報社 ③昭和8年12月東京歌舞伎座所演（短評）
	文楽見たまゝ聞いたまゝの記	劇評	金光明川		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第329号	①昭和9年1月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和8年12月東京歌舞伎座所演 ③昭和9年1月四ツ橋文楽座所演
	非常時文楽座の豪華陣						
	第一編 芸の生涯 四、稻荷座時代 * 河庄か逆櫓か	芸談	木谷正之助（蓬吟）		五世竹本弥太夫 芸の六十年		①昭和9年10月 ④私家版 ③明治29年12月の記事
	第二編 人物と芸格 一、弥太夫の人と芸と 二、山桜と逆櫓			江上修次郎			③（5）竹本弥太夫の紙治茶屋に対する見識
	一三、逸話ほこりたとき 一七、弥太夫風九曲の解剖 * 紙治 河庄の段			山本吉兵衛 (4) 鶴沢叶 (2) 鶴沢清八			③「チョンガレ」の稽古
	「天網島」劇の変遷	研究	仲野武男		学苑	第2巻 第2号	①昭和10年2月 ④昭和女子大学光葉会
642	心中天の網島詳解	研究	伊藤正雄		心中天の網島詳解		①昭和10年5月 ④富山房 ③本文・要旨・註釈・口訳・後評・索引・関係地名図・ 「心中天の網島解題」「近松時代の大阪の遊里」「近松 時代の貨幣」「徳川時代の時刻法」「心中天網島本文」 掲載、附録「近松参考書目録」
							①平成3年6月 ③新装復刊
	天の網島を読む		三刀屋和人		国文視野	創刊号	①昭和10年6月 ④大正大学国文学会 ③C i n i i ( N I I 論文情報ナビゲータ) による



上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考					
	曾根崎心中・冥途の飛脚・心中 天網島	解説	鶴見誠		国文学 解釈と鑑賞	第2号	①昭和11年7月 ④至文堂					
	文楽座の人形浄瑠璃 土佐太夫引退興行	劇評	安部豊		演芸画報	第31年 第7号	①昭和12年7月 ④演芸画報社 ③昭和12年6月東京明治座所演					
	「心中天の網島」の敬讓語—そ の用語と助動詞とについて—	研究	工藤芳雄		洋光	第6号	①昭和13年8月 ④不明 ③『国文学 解釈と鑑賞』（第30巻第3号）近松研究文献 目録に拠る					
	五、稻荷座時代 *組さんの「河庄」	芸談	鴻池幸武＝編	(1) 吉田栄三	吉田栄三自伝		①昭和13年11月 ④相模書房 ③昭和23年5月武智鐵二の序等を加え和敬書店より再版。 (5) 竹本組太夫の「茶屋場」					
	七、文楽座へ *老け役						③明治32年12月の(2)竹本越路太夫(摂津大掾)の「炬 燵」					
	九、文楽座へ復帰 *「朝顔」の『一ツ家』 *植村さん最後の興行						③明治37年11月御霊文楽座の記事					
	十、松竹さんになってから *孫右衛門の衣裳						③初役の治兵衛について ③吉田多為蔵の孫右衛門の工夫					
284	*「河庄」の出 *原作の「紙治」						③「河庄」治兵衛の出 ③大正6年3月御霊文楽座 ③治兵衛の頭					
	十一、御霊文楽座焼失と弁天座 時代 *御霊文楽座の火事											
	十二、四ツ橋の文楽座になっ てから *文楽の三勇士						③治兵衛の足					
	十三、芸談						③治兵衛					
	明治座の文楽見物						劇評	安部豊		演芸画報	第33年 第4号	①昭和14年4月 ④演芸画報社 ③昭和14年3月東京明治座所演

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	花見月の文楽	劇評	鴻池幸武		演芸画報	第33年 第5号	①昭和14年5月 ④演芸画報社 ③昭和14年4月四ツ橋文楽座所演
					鴻池幸武文楽批評集成		①平成31年2月 ④大阪大学出版会 ③多田英俊＝編著
	鴻池幸武・武智鉄二対談 二月 の文楽座批評	劇評	鴻池幸武・武智 鉄二		劇評集	第12	①昭和15年3月 ④「劇評」発行所 ③昭和15年2月四ツ橋文楽座所演
					鴻池幸武文楽批評集成		①平成31年2月 ④大阪大学出版会 ③多田英俊＝編著
488	浄曲随想 如是我聞	劇評	中野孝一		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第387号	①昭和15年3月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和15年2月四ツ橋文楽座所演
	津太夫の河庄	劇評	武智鉄二		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第388号	①昭和15年4月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和15年2月四ツ橋文楽座所演
					かりの翅		①昭和16年8月 ④千歳書房 ③昭和44年2月学芸書林より改訂再版
					定本・武智歌舞伎	③文楽舞踊	①昭和54年8月 ④三一書房
					近代文藝評論叢書	14かりの翅	①平成2年10月 ④日本図書センター
	詩の人形浄るり	劇評	布芳雄		演芸画報	第34年 第9号	①昭和15年9月 ④演芸画報社 ③昭和15年8月東京明治座所演（短評）
498	栄三の断面	演出	内田富太郎		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第393号	①昭和15年9月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和15年8月東京明治座所演の（1）吉田栄三
	近松浄瑠璃の形式	研究	守隨憲治		義理		①昭和16年7月 ④甲鳥書林
					守隨憲治著作集	第4巻	①昭和54年2月 ④笠間書院 ③『義理』『近松』他を収録
	文楽五の替り	劇評	小谷青楓		演芸画報	第35年 第8号	①昭和16年8月 ④演芸画報社 ③昭和16年7月東京新橋演舞場所演

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
259	第二篇 近松名作解題 * 心中天の網島	解説	黒木勘蔵		近松門左衛門		①昭和17年1月 ④大東出版社 ③大東名著選22
	歌舞伎にあらはれた義理人情 * 「堀川」と「天の網島」	評論	弘津千代		演芸画報	第36年 第1号	①昭和17年1月 ④演芸画報社
	「天ノ網島」から「太功記」	解説	大西重孝		四ツ橋文楽座文楽公演プロ グラム		①昭和17年1月 ④松竹(株)
	新櫓下披露の文楽座	劇評	鳥江鏡也		演芸画報	第36年 第2号	①昭和17年2月 ④演芸画報社 ③昭和17年1月四ツ橋文楽座所演(一言)
488	『炬燵』のかしら、小道具 『炬燵』の治兵衛(人形覚書)	演出	齋藤清二郎 大西重孝		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第407号	①昭和17年2月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和17年1月四ツ橋文楽座所演
174、284	栄三の舞台 時雨の炬燵 紙屋内の段一栄三 の治兵衛一				文楽人形の演出		①昭和49年8月 ④大西重孝著作刊行会 ③『浄瑠璃雑誌』第407号掲載文に人形扮装表と浄瑠璃本 文を併載
	第三章 戯曲構成論 一 操浄瑠璃系の戯曲構成 (二) 世話物系の戯曲構成 1 近松の代表作「曾根崎心 中」「天の網島」の構成	研究	中村吉蔵		日本戯曲技巧論		①昭和17年7月 ④中央公論社
	第四章 劇的局面論 二 世話物系の局面 (一) 心中物の局面 1 近松の遊女相手の三角関係 的心中物の局面						
	第五章 劇的性格論 三 世話物系の劇的性格						
	文楽の人形浄瑠璃	劇評	安部豊		演芸画報	第37年 第1号	①昭和18年1月 ④演芸画報社 ③昭和17年12月東京新橋演舞場所演(短評)
	名作浄瑠璃解説 天網島時雨の炬燵	解説 梗概	(6) 竹本住太 夫		文楽浄瑠璃物語		①昭和18年2月 ④正文館書店 ③(6) 竹本住太夫文楽生活年表付載。「紙屋の段」本文 と頭注付載
			(9) 竹本文字 大夫(7) 竹 本住太夫)・佐 藤靄子		六代竹本住大夫		①昭和57年7月 ④青蛙房 ③(6) 竹本住大夫舞台年譜(佐藤靄子=編)付載。本文 と頭注を削除して収録

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	心中天網島（紙屋治兵衛と小春）	考証	坂本箕山		戯曲と史実		①昭和18年8月 ④日比谷出版社
					芝居と史実		①昭和22年1月 ④東照堂
174、284	芸談 文楽鑑賞（二十）「時雨の炬燵」	芸談	山口廣一	(1) 鶴沢道八	演芸画報	第37年 第9号	①昭和18年9月 ④演芸画報社
	上方戯曲名所めぐりの一『天の網島』の遺跡を探る	史跡	牧村源三		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第422・423号	①昭和18年10・11月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③芝居と史実
	二代目鶴沢勝七師へ入門と松島文楽座時代	芸談	鴻池幸武	(1) 鶴沢道八	道八芸談		①昭和19年1月 ④私家版 ③武智鐵二の注解を付載して昭和62年11月ペリかん社より復刊、日本芸術名著選4。平成28年11月ぶんがく社よりペリかん社版を復刻（花もよ叢書009、文庫版）。(2) 豊沢団平の「紙治炬燵」など
446	名作の尊重	劇評	大西重孝		観照	第3号	①昭和21年10月 ④観照社 ③昭和21年10月四ツ橋文楽座所演
	文楽の若手群	劇評	大西重孝		幕間	第1巻	①昭和21年12月
	文楽の「向上会」	劇評	大西重孝		観照	第4号	①昭和21年12月 ④観照社 ③昭和21年11月17日四ツ橋文楽座所演第2回文楽座若手向上会
446	代わり役の事	芸談	武智鐵二	(2) 豊竹古靱	観照	第6号	①昭和22年4月
446	古靱の「道明寺」	劇評	大西重孝	太夫			④観照社
	「道明寺」と「河庄」	劇評	山口廣一		文楽	第2巻 第4号	①昭和22年5月 ④誠光社 ③昭和22年2月四ツ橋文楽座所演
	小 春/治兵衛心中天網島	小説化	大野勝也		現代/語訳近松情話		①昭和22年4月 ④堀江書房
	竹本綱太夫対談	芸談	三宅周太郎	(8) 竹本綱太夫	幕間	第2巻 第11号	①昭和22年11月 ④和敬書店 ③原作の「天の網島」
	竹本綱太夫				芸能対談		①昭和25年5月 ④創元社
	「王将」と「壊れ甕」	劇評	山口廣一		文楽	第3巻 第1号	①昭和23年1月 ④誠光社 ③昭和22年11月四ツ橋文楽座所演（短評）

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	桐竹紋十郎対談	芸談	三宅周太郎	(2) 桐竹紋十郎	幕間	第3巻 第9号	①昭和23年9月 ④和敬書店 ③「時雨の炬燵」(1) 吉田栄三の治兵衛
	桐竹紋十郎				芸能対談		①昭和25年5月 ④創元社
	芝居の中の女性 Ⅲ世話女房 *「紙治」のおさん	鑑賞	高岡宣之		歌舞伎の女性		①昭和24年1月 ④新府書房
	歌舞伎百趣 53心中紙屋治兵衛(小春治兵衛) 「心中天網島」	解説	堂本寒星		歌舞伎百趣		①昭和24年7月 ④河原書店
	忘れ得ぬひとびと	芸談	茶谷半次郎	豊竹山城少掾	山城少掾聞書		①昭和24年8月 ④和敬書店 ③(4) 豊沢仙糸の「河庄」
	若返った文楽	劇評	川口子太郎		演劇界	第7巻 第11号	①昭和24年11月 ④日本演劇社 ③昭和24年10月東京帝国劇場所演(短評)
	文楽てんやわんや評	劇評	濱邊義三郎		幕間	第5巻 第4号	①昭和25年4月 ④和敬書店 ③昭和25年3月東京新橋演舞場所演(一言)
	山城の重量感	劇評	安藤鶴夫		安藤鶴夫作品集	Ⅲ芸	①昭和45年12月 ④朝日新聞社 ③昭和25年3月東京新橋演舞場所演(一言)。初出＝「スクリーン・ステージ」。平成9年3月復刻版
	心中天網島	解説 梗概	守隨憲治		増補/改訂日本文学大辞典	第4巻	①昭和25年10月 ④新潮社 ③藤村作＝編纂
188、642	私の芸談 *初役同様の「河庄」 *難役「孫右衛門」	芸談		(8) 竹本綱太夫 (2) 吉田玉市	幕間	第5巻 第11号	①昭和25年11月 ④幕間和敬書店
488	初春の文楽評 山城の出演と玉五郎襲名	劇評	吉永孝雄		幕間	第6巻 第2号	①昭和26年2月 ④幕間和敬書店 ③昭和26年1月四ツ橋文楽座所演
224	心中天網島	梗概 解釈	高野正巳＝校註		日本古典全書	近松門左衛門 集 下巻	①昭和27年7月 ④朝日新聞社 ③本文・解説・頭注付載
					日本古典選		①昭和52年5月 ④朝日新聞社

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	文楽芸術の宣伝	劇評	鷲谷禰風		舞台展望	第15号	①昭和27年9月(10月号) ④舞台すがた社 ③昭和27年9月中座所演
	文楽だより 近松記念興行	劇評	大西重孝		演劇界	第10巻 第11号	①昭和27年10月 ④演劇新社 ③昭和27年9月中座所演
	歌舞伎劇の復元的上演について—近松作「心中天の網島」を中心に—	参考 研究	近藤忠義		伝統芸術	No.11	①昭和27年10月 ④伝統芸術の会 ①昭和59年4月(復刻) ④南博研究室室内伝統芸術の会
	近松の作品研究 * 運命劇としての『心中天網島』	研究	野田寿雄		文学	第20巻 第10号	①昭和27年10月 ④岩波書店 ③近松門左衛門生誕三百年記念特集
カ105、 143、188	文楽一夕話 近松記念の「紙治」	芸談		(8) 竹本綱太夫	幕間	第7巻 第12号	①昭和27年12月 ④幕間和敬書店 ③昭和27年11月四ツ橋文楽座所演
	■舞台人が語った近松の人間像 * 「心中天網島」		野村喬・大笹吉 雄=編		国文学 解釈と鑑賞	第35巻 第12号	①昭和45年10月 ④至文堂 ③特集〈現代に生きる近松の文学と舞台〉
	近松三百年記念公演	劇評	市川文造		歌舞伎評論	第2巻 第1号	①昭和28年1月 ④歌舞伎評論社 ③昭和27年12月東京新橋演舞場所演
	心中天の網島の音曲	研究	浅野達三		立命館文学	102号	①昭和28年11月 ④立命館大学人文科学研究所
	「曾根崎心中」と「心中天の網島」	研究	駒尺きみ		文学研究	第3号	①昭和28年12月 ④日本文学研究会(法政大学大学院内)
488	「心中天網島」のテーマについて—やめて貰いたい「時雨の炬燵」—	研究	廣末保		演劇評論	第2巻 第3号	①昭和29年3月 ④演劇評論社
	「心中天網島」と「時雨の炬燵」				元禄文学研究		①昭和30年1月 ④東京大学出版会 ③『演劇評論』掲載の改題
					増補版元禄文学研究		①昭和40年5月 ④東京大学出版会 ③昭和54年9月復刊
					廣末保著作集	第1巻 元禄文学研究	①平成8年11月 ④影書房
	三越劇場と新橋演舞場 共に“文楽”一の替り	劇評	安藤鶴夫		演劇界	第12巻 第7号	①昭和29年7月 ④演劇出版社 ③昭和29年6月東京新橋演舞場所演

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	享保五年「心中天の網島」上演 に関する諸事実	研究	浅野達三		論究日本文学	創刊号	①昭和29年7月 ④立命館大学日本文学会
	「心中天網島」通し上演	参考	三宅周太郎		幕間	第9巻 第9号	①昭和29年9月 ④幕間和敬書店 ③昭和29年8月東京歌舞伎座所演歌舞伎公演の演出
	利かぬ御馳走づくめ	劇評	大鋸時生		幕間	第9巻 第12号	①昭和29年12月 ④幕間和敬書店 ③昭和29年11月四ツ橋文楽座所演（短評）
	やめてほしい「時雨の炬燵」	批評	権藤芳一		演劇評論	第3巻 第1号	①昭和30年1月 ④演劇評論社 ③昭和29年11月四ツ橋文楽座の演目について
	近松における遊女の類型 一梅川と小春との性格的対比を 中心として一	研究	滝口洋		文芸研究	第19集	①昭和30年2月 ④日本文芸研究会
	三和会の若手勉強会 附無形文化財のこと	劇評	内海繁太郎		幕間	第10巻 第3号	①昭和30年3月 ④幕間和敬書店 ③昭和30年2月東京三越劇場所演
	文楽だより 四ツ橋文楽座お名残り興行 話題に残る「喜内住家」	劇評	大西重孝		演劇界	第13巻 第13号	①昭和30年12月 ④演劇出版社 ③昭和30年11月四ツ橋文楽座所演
	文楽の戦後史 * 話題に残る山城の「喜内住 家」一四ツ橋文楽のお名残り興 行一				文楽人形の演出		①昭和49年8月 ④大西重孝著作刊行会
	四ツ橋文楽座お名残り興行	劇評	升屋治三郎		幕間	第10巻 第12号	①昭和30年12月 ④幕間和敬書店 ③昭和30年11月四ツ橋文楽座所演（短評）
	『心中天の網島』の考察	研究	田口寛		横浜市立大学学生論集	第3号	①昭和31年2月 ④横浜市立大学
569	作品研究 「心中天の網島」	研究	戸部銀作		近松門左衛門一研究入門一		①昭和31年8月 ④東京大学出版会

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	心中天の網島	書下 し	田中澄江＝訳		日本国民文学全集	第13巻 近松名作集	①昭和31年8月 ④河出書房 ③「訳者の言葉」・年譜（河竹登志夫）・解説（戸板康二）付載
					日本文学全集	第10巻 近松名作集	①昭和36年3月 ④河出書房新社 ③注釈（池田弥三郎）・年譜（河竹登志夫）・解説（河竹登志夫）付載
					国民の文学	14近松名作集	①昭和39年6月 ④河出書房新社 ③注釈（池田弥三郎）・年譜（河竹登志夫）・解説（河竹登志夫）付載
					日本の古典	19近松門左衛門	①昭和47年3月 ④河出書房新社 ③解説「近松の反悲劇」（山崎正和）・解題（今尾哲也）・年譜（河竹登志夫）・注釈（池田弥三郎）・『今昔操年代記』（今尾哲也＝訳）・『難波土産』（浦山政雄＝訳）付載
					日本古典文庫	18近松名作集	①昭和51年8月 ④河出書房新社 ③注釈（池田弥三郎）・年譜（河竹登志夫）・解説（山崎正和）付載。昭和63年4月新装版
					現代語訳 曾根崎心中		①平成20年1月 ④河出書房新社 ③注釈（池田弥三郎）付載
	過大舞台の破綻	劇評	北岸佑吉		幕間	第11巻 第10号	①昭和31年10月 ④幕間和敬書店 ③昭和31年9月道頓堀文楽座所演
	文楽は亡びない	芸談	東京新聞文化部	豊竹山城少掾	芸に生きる 芸談集		①昭和31年11月
	『心中天の網島』展開その三	研究	廣末保		近松序説		①昭和32年4月 ④未来社
					増補近松序説―近世悲劇の研究―		①昭和38年9月 ④未来社
					廣末保著作集	第2巻 近松序説	①平成10年9月 ④影書房
	「心中天の網島」の一齣	研究	村田穆		女子大國文	第6号	①昭和32年6月 ④京都女子大学国文学会
	綱太夫で光る夏祭の泥場と平仮名の逆櫓	劇評	吉永孝雄		幕間	第12巻 第8号	①昭和32年8月 ④幕間和敬書店 ③昭和32年7月道頓堀文楽座所演



上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	愛と死の道行―世話物の展望―	研究	浦山政雄		近松		①昭和32年9月 ④角川書店 ③日本古典鑑賞講座20
	近松を演出する 近松の旅	参考	武智鐵二 戸板康二				
	心中天の網島の文章	研究	森本良夫		愛媛大学国語国文学	第1号	①昭和34年1月 ④愛媛大学
	近松作品の悲劇の考察（二）― 心中天網島―	研究	浅野香津子		ふじ	第8号	①昭和34年3月 ④藤女子短期大学
	近松の描いた人間像（四）―心 中天網島―		福島祐子				
	2 名作の舞台 * 紙屋治兵衛／きいの国や小は る心中天網島	解説 写真	大西重孝・吉永 孝雄＝著／三村 幸一＝写真		文楽		①昭和34年3月 ④講談社 ③文楽座＝編
	近松が描いた世界 三 義理 * 『心中天網島』に描かれた義 理 四 生と死	研究	森修		近松門左衛門		①昭和34年6月 ④三一書房 ③古典とその時代VI。近松作品年表付載  ①昭和46年11月（新装版）
224	五十年ぶりの「夏祭」の通しと 「天網島」	劇評	吉永孝雄		幕間	第14巻 第8号	①昭和34年8月 ④幕間和敬書店 ③昭和34年7月道頓堀文楽座所演
	盲兵助と名残りの橋尽し	劇評	吉永孝雄		幕間	第15巻 第10号	①昭和35年10月 ④幕間和敬書店 ③昭和35年8月道頓堀文楽座所演（短評）
	心中紙屋治兵衛	解説 梗概	林京平		演劇百科大事典	第3巻	①昭和35年10月 ④平凡社 ③河竹繁俊＝編著代表
力105、 143					総合日本戯曲事典		①昭和39年2月 ④平凡社 ③河竹繁俊＝編纂
	心中天網島	解説 梗概	森修		演劇百科大事典	第3巻	①昭和35年10月 ④平凡社 ③河竹繁俊＝編著代表
力105、 143					総合日本戯曲事典		①昭和39年2月 ④平凡社 ③河竹繁俊＝編纂

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	近松の「天の網島」について	研究	飯隆梅子		國文學 解釈と教材の研究	第5巻 第13号	①昭和35年10月 ④學燈社
	『心中天網島』の方法―〈その一〉テーマの展開	研究	岡崎展子		国語国文学	第1号	①昭和36年4月 ④岐阜大学
	関西の焦点 文楽の末期的症状	劇評	北岸佑吉		演劇界	第20巻 第3号	①昭和37年3月 ④演劇出版社 ③昭和37年1月道頓堀文楽座所演
	心中天の網島注釈	研究 注釈	祐田善雄・吉永 孝雄		国文学 解釈と鑑賞	第27巻 第6号 (320号) ～ 第36巻 第1号 (445号)	①昭和37年5月～46年1月 ④至文堂 ③40回連載
	紙屋治兵衛/きいの国や小はる 心中天の網島		祐田善雄		全講心中天の網島		①昭和50年2月 ④至文堂 ③「心中天の網島注釈」を編集、さらに横山正が補った 「心中場」以降を加え、単行本化
	近松門左衛門という作家8 貞女おさんの悲劇「心中天の網 島」	鑑賞	吉永孝雄		浪花のれん	第33号	①昭和38年2月 ④KK産報
	近松世話浄瑠璃の評価の問題― 松田修氏の『曾根崎心中』論に 触れながら―	研究	原道生		日本文学	第12巻 第6号	①昭和38年6月 ④日本文学協会 ③未来社刊
					近松浄瑠璃の作劇法		①平成25年11月 ④八木書店古書出版部
	「心中天網島」初歩的解説	鑑賞	村田穆		論究日本文学	第22号	①昭和39年1月 ④立命館大学日本文学会
	関西の焦点 文楽協会一年	劇評	北岸佑吉		演劇界	第22巻 第4号	①昭和39年4月 ④演劇出版社 ③昭和39年3月朝日座所演
	でんでん虫五十年 *近松物と私	芸談	(8) 竹本綱大 夫		でんでん虫		①昭和39年6月 ④布井書房
188、 224、569	芸談 河庄						
	芸談 綱大夫の代々						③ (7) 竹本綱太夫の得意演目

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	小春と治兵衛	考証	山田実＝編		伝説と奇談	第2集 近畿篇(1)	①昭和39年11月 ④山田書院
						第6集 近畿②	①昭和42年10月 ④山田書院
	作品をテーマとして 近松が描いた世界 *金	研究	向井芳樹		国文学 解釈と鑑賞	第30巻 第3号	①昭和40年3月 ④至文堂 ③特集〈劇作家としての近松〉
	近松が描いた〈金〉の世界				近松の方法		①昭和51年9月 ④桜楓社
	「心中天の網島」における女同志の義理について―その成立基盤と意義―	研究	白方勝		新居浜工業高等専門学校紀要	第1巻	①昭和40年3月 ④新居浜工業高等専門学校
	第三編 世話浄瑠璃の展開 四 家の悲劇 (一) 『心中天の網島』				近松浄瑠璃の研究		①平成5年9月 ④風間書房 ③『新居浜工業高等専門学校紀要』第1巻掲載文を改稿
	作品鑑賞 心中天の網島	鑑賞	高野正巳		近松とその伝統芸能		①昭和40年6月 ④講談社
	時代物の世界『安達三』	劇評	内山美樹子		演劇界	第24巻 第3号	①昭和41年2月 ④演劇出版社 ③昭和41年1月東京三越劇場所演(短評)
					文案 二十世紀後期の輝き― 劇評と文楽考―		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部
284	「時雨炬燵」その他―心中天網島劇系譜考より―	研究	金沢輝		学習院大學國語國文學會誌	第9号	①昭和41年3月 ④学習院大學文學部國語國文學研究室
	「名残の橋づくし」めぐり	研究	山村太郎		演劇研究会会報	第1号	①昭和41年3月 ④演劇研究会
	伝話帳 * 大通人杉山先生のことども	芸談	(8) 竹本綱大夫		芸談かたつむり		①昭和41年4月 ④布井書房 ③「炬燵」のチョンガレ
	* 名人の隠し芸について						③(6) 鶴沢友治郎の「河庄」のさのさ
	義太夫国紳士録 * 三世竹本越路大夫師一勘当 チャンピオン						③「大和屋」
	* 六世野沢吉兵衛師匠一仏の師匠						③「河庄」
224、569	綱大夫図書室 * 近松原作の「紙屋内」と「大和屋」						

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
488	三味線の修業時代から	芸談		野沢松之輔	文楽友の会通信	No.15	①昭和41年8月 ④文楽協会
	理論の実際とこれから * 近松の研究	研究	吉永孝雄		国文学 解釈と鑑賞	第31巻 10号	①昭和41年8月 ④至文堂 ③特集〈日本文学研究法〉
	「心中天の網島」論理・方法・ 達成	研究	青木正次		近松論集	第4集	①昭和41年9月 ④近松の会
					近松		①昭和51年3月 ④有精堂出版 ③日本文学研究資料叢書。解説・「近松研究主要参考文献」付載
	関西劇場街採点 寿海・雷蔵の舞台 文楽の牛若・弁慶	劇評	北岸佑吉		演劇界	第24巻 第12号	①昭和41年10月 ④演劇出版社 ③昭和41年9月朝日座所演（短評）
	「天の網島」について 文楽の首シリーズ1	鑑賞 演出	浜村米蔵 斎藤清二郎		国立劇場文楽公演解説書	第1回	①昭和41年11月 ④国立劇場事業部
	気魄こもる「菊畑」	劇評	安藤鶴夫		安藤鶴夫作品集	Ⅲ芸	①昭和45年12月 ④朝日新聞社 ③昭和41年11月東京国立劇場小劇場所演（短評）。初出＝「読売新聞」（昭和41年11月21日）。平成9年3月復刻版。『文楽 日本の伝統』『古楽芸談』『桐竹紋十郎』『芸と人』『芸について』他を収録
	越路襲名の「河庄」など	劇評	内山美樹子		演劇界 文楽 二十世紀後期の輝き— 劇評と文楽考—	第24巻	①昭和41年12月 ①平成22年2月 ④早稲田大学出版部
	紋十郎と舞台	写真 解説	金子弘＝写真/ 安藤鶴夫＝文		文楽◎桐竹紋十郎		①昭和42年1月 ④求龍堂（限定版） ③中西敬二郎「二世桐竹紋十郎年譜」を収録。（2）桐竹紋十郎の紙屋治兵衛・小春
	『心中天の網島』の解釈	研究	重友毅		文学	第35巻 第4号	①昭和42年4月 ④岩波書店
	文楽講座・3 世話浄るり	鑑賞	祐田善雄		国立劇場文楽公演解説書	第3回	①昭和42年6月 ④国立劇場事業部
	浄瑠璃私注一「なり瓢」をめ ぐって一	研究	山賀七郎		國學院雑誌	第68巻 第7号	①昭和42年7月 ④國學院大學

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	作品に見る愛 心中天網島	考察	廣末保		國文學 解釈と教材の研究	第13巻 第10号	①昭和43年8月 ④學燈社 ③特集〈古典文学に見る愛のかたち〉
					廣末保著作集	第9巻 心中天の網島	①平成12年7月 ④影書房
224	十月の上演狂言について *日本人のリズム感	評論	山口廣一		朝日座プログラム		①昭和43年9月 ④文楽協会
	関西劇場街探点 文楽と大衆劇	劇評	北岸佑吉		演劇界	第26巻 第11号	①昭和43年11月 ④演劇出版社 ③昭和43年9・10月朝日座所演
	(新資料) 近松とところどころ(一)(二) —「心中天の網島」私注—	研究	諏訪春雄		解釈	第14巻 第10・12号	①昭和43年10・12月 ④解釈学会
	第二部 死への傾斜 五 女同士の義理—小春治兵衛—	研究	諏訪春雄		愛と死の伝承—近世恋愛譚		①昭和43年12月 ④角川書店 ③角川選書10
	「心中天の網島」の根本問題— その悲劇性について—	研究	須山章信		帝塚山演劇学	第2巻 第1号	①昭和44年5月 ④帝塚山大学演劇学研究室
	なり瓢風に謡らるゝ—天網島 ノート—	研究	廣末保		日本文学	第18巻 第5号	①昭和44年5月 ④日本文学協会
	近松の世話浄るり—心中天網 島—	鑑賞	廣末保		アートシアター	68号	①昭和44年5月 ④日本アート・シアター・ギルド
	近松の世話浄るり—『心中天の 網島』				廣末保著作集	第9巻 心中天の網島	①平成12年7月 ④影書房
	「河庄」雑記	批評	内山美樹子		演劇研究会会報	第6・7合併号	①昭和44年7月 ④演劇研究会
	近松劇における伝統と創造—映 画「心中天網島」より—	参考	佐藤彰		日本文学	第18巻 第9号	①昭和44年9月 ④日本文学協会
	心中天網島	解説	戸板康二		名作歌舞伎全集	第1巻 近松門左衛門 集	①昭和44年10月 ④東京創元新社
	〈心中天の網島〉おさん	解説	諏訪春雄		國文學 解釈と教材の研究	第14巻 第14号	①昭和44年10月 ④學燈社 ③10月臨時増刊。特集〈作品に見る日本のおんな—〇— 人〉
	近松の救いの思想—『心中天の 網島』を中心に—	研究	千葉篤		文学研究	第30号	①昭和44年11月 ④日本文学研究会(文理書院内)

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	近松における「義理と情」－ 「心中天の網島」を中心とし て－	研究	鳥居フミ子		実践文学	第38号	①昭和44年12月 ④実践文学会
	心中道行のドラマトウルギー	研究	笠原信夫		美と悪の伝統		①昭和44年9月 ④桜楓社
	ドラマとしての心中 * 心中道行のドラマトウルギー				別冊歴史読本	第20巻 第46号	①平成7年11月 ④新人物往来社 ③特別増刊江戸コレクション・江戸の心中
	心中天網島考－虚実皮膜論の現 代的意義	評論	篠田正浩		心中天網島		①昭和45年1月 ④仮面社
	■近松演劇美への視点 * 近松浄瑠璃の戯曲作法－世話 浄瑠璃の構造－	研究	諏訪春雄		国文学 解釈と鑑賞	第35巻 第12号	①昭和45年10月 ④至文堂 ③特集〈現代に生きる近松の文学と舞台〉
	* 音曲の文体から見た近松		祐田善雄				
	■現代に生きる近松の魅力 * 今日にとって近松の魅力とは なにか		武智鐵二				
	* 近松作品の人間像はどう生き てきたか	参考	野村喬				
	■舞台人が語った近松の人間像 * 「心中天網島」	芸談	野村喬・大笹吉 雄＝編	(8) 竹本綱大 夫			③初出＝『幕間』第7巻第12号（昭和27年12月・幕間和敬 書店）
	■近松作品の事実と虚構 * 心中天の網島－事実と虚構の 時間－	研究	青木正次				
	■舞台芸能鑑賞の手引き * 文楽鑑賞のために	鑑賞	吉永孝雄				
334	心中天の網島	解説	諏訪春雄		近松世話物集	1	①昭和45年12月 ④角川書店 ③角川文庫
174、ブ 8、188	心中天の網島 解釈と研究	解説 研究	藤野義雄		心中天の網島 解釈と研究		①昭和46年9月 ④桜楓社 ③解題（初演と題材・内容と構成・改作と影響）、本 文・註釈・通釈・研究、型の記録（歌舞伎の河庄・紙屋 内）・索引付載

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	近松の文体とその演奏	研究	武智鐵二		季刊「歌舞伎」	第16号	①昭和47年1月 ④松竹株式会社演劇部 ③特集〈近松門左衛門の作品〉
					定本・武智歌舞伎	③文楽舞踊	①昭和54年8月 ④三一書房
	動かぬ道行一名残の橋づくし	研究	早川雅水		国文鶴見	第7号	①昭和47年3月 ④鶴見女子大学日本文学会
	ドラマとしての心中 * 動かぬ道行一名残の橋づくし				別冊歴史読本	第20巻 第46号	①平成7年11月 ④新人物往来社 ③特別増刊江戸コレクション・江戸の心中
	作品論の新視覚／近松・1 近松からの〈世界〉－「心中天網島など」－	研究	青木正次		日本文学	第21巻 第6号	①昭和47年6月 ④日本文学協会
	芸三夜	芸談	(8) 坂東三津 五郎・武智鐵二		芸十夜		①昭和47年10月 ④駸々堂出版 ③豊竹山城少掾の「河庄」
	芸五夜						③題をつかう
	『心中天の網島』における「義理」について	研究	河野恵美		広島女学院大学国語国文学誌	第2号	①昭和47年12月 ④広島女学院大学日本文学会
284	演目解説 天網島時雨炬燵 北新地河庄の 段・紙治内の段	解説 梗概	武智鐵二		土門拳 文楽		①昭和47年12月 ④駸々堂出版 ③別冊『土門拳文楽 その背景』に収録
					定本・武智歌舞伎	③文楽舞踊	①昭和54年8月 ④三一書房
					土門拳全集	6文楽	①昭和60年11月 ④小学館 ③〈見所〉は省く
	「心中天網島」にみる改作の実態とその必要性	研究	河島みち代		玉藻	第9号	①昭和47年12月 ④フェリス女学院大学国文学会
	関西劇信 初春の文楽と三座	劇評	北岸佑吉		演劇界	第31巻 第2号	①昭和48年2月 ④演劇出版社 ③昭和48年1月朝日座所演
	文楽の近松記念の一年	劇評	山口廣一		演劇年鑑	74	①昭和49年3月 ④日本演劇協会 ③昭和48年1月朝日座所演（短評）

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	小春と治兵衛 心中天網島	書下し	小田嶽夫		恋に滅びた人びとー近松の名作からー		①昭和48年2月 ④読売新聞社
	文楽の風土4 「心中天の網島」の時雨の炬燵		吉永孝雄		大阪	83	①昭和48年2月 ④大阪府観光連盟 ③『吉永孝雄の私説昭和の文楽』（平成7年5月・和泉書院）所収「吉永孝雄業績目録」に拠る
	近松心中物に於けるロマンスズムの変質ー『心中天網島』試論ー	研究	矢野公和		若杉研究所教育研究紀要	第13集	①昭和48年3月 ④若杉研究所（東京都立杉並高等学校内）
	〈作品〉のはじまりー心中天網島によるー	研究	青木正次		日本文学	第22巻 第6号	①昭和48年6月 ④日本文学協会 ③シンポジウム《語りの世界》・言葉の奥に潜むもの。未来社刊
	復権する近松への証言ー近松作品の上演記録と演出論ー * 明治以降の上演記録	資料	吉永孝雄		上方芸能	33号	①昭和49年1月 ④上方落語をきく会 ③特集〈われらにとっての近松〉
	Ⅲ 新作・復曲と演出 『心中宵庚申』 * 近松物の上演記録 ・ 明治以降の近松作品の上演記録				吉永孝雄の私説昭和の文楽		①平成7年5月 ④和泉書院 ③近松研究所叢書2
	私と近松 * 忠兵衛・治兵衛 その時代	鑑賞	岸本直子		上方芸能	33号	①昭和49年1月 ④上方落語をきく会 ③特集〈われらにとっての近松〉
	四章 近松の世界 近松門左衛門という作家 * 心中天の網島	梗概	吉永孝雄		カラー文楽の魅力		①昭和49年1月 ④淡交社 ③三村幸一＝写真



上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	狂言豆知識 門左衛門と心中狂言	参考	津田類		国立劇場歌舞伎公演解説書	第66回	①昭和49年6月 ④国立劇場事業部
	監修のことば * 近松に倚りかかる幸運		山口廣一				
	「心中天網島」の改作	研究	浦山政雄				
	「心中天の網島」執筆当時の近松		森修				
	天網島の遺跡をさぐる	史跡	牧村史陽				
	近松の虚と実	対談	吉川幸次郎・生島遼一				
	義太夫節以外の浄瑠璃に見る『心中天網島』について	参考	平野健次				
	歌舞伎講座 * 心中物		(M)				
	文楽と初代栄三 * 文楽のかしら	解説	大西重孝		文楽人形の演出		①昭和49年8月 ④大西重孝著作刊行会 ③孫右衛門のカシラ。初出＝昭和36年7月
174、284	栄三の舞台 * 時雨の炬燵 紙屋内の段一栄三の治兵衛一	演出					③初出＝『浄瑠璃雑誌』第407号（昭和17年2月）。人形扮装表と浄瑠璃本文を併載
	文楽の戦後史 * 話題に残る山城の「喜内住家」一四ツ橋文楽のお名残り興行一	劇評					③昭和30年11月四ツ橋文楽座所演。初出＝『演劇界』第13巻第13号（昭和30年12月・演劇出版社）
	近松悲劇の内質 * 心中のドラマツルギー	研究	篠田正浩		国文学 解釈と鑑賞	第39巻 第11号	①昭和49年9月 ④至文堂 ③特集〈近松一近世悲劇の原像〉
	ドラマとしての心中 * 心中のドラマツルギー				別冊歴史読本	第20巻 第46号	①平成7年11月 ④新人物往来社 ③特別増刊江戸コレクション・江戸の心中
	近松悲劇の内質 * 愛と死の弁証法—心中のドラマツルギー	研究	野島秀勝		国文学 解釈と鑑賞	第39巻 第11号	①昭和49年9月 ④至文堂 ③特集〈近松一近世悲劇の原像〉
	近松の可能性 * 死と人形	鑑賞	中石孝				
	作品分析—新しい視座から * 心中天の網島	研究	青木正次				

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	心中天網島	現代 語訳	水上勉＝訳		グラフィック版日本の古典	12 心中天網島	①昭和50年3月 ④世界文化社 ③「近松の女たち」・地図「元禄時代の大坂」・図版目録・文楽小事典付載
					別冊歴史読本	第20巻 第46号	①平成7年11月 ④新人物往来社 ③特別増刊江戸コレクション・江戸の心中
259	近松の文学と節付け 心中の季節 近松の出自と作力	研究 解説	内山美樹子 諏訪春雄 郡司正勝		グラフィック版日本の古典	12 心中天網島	①昭和50年3月 ④世界文化社 ③「近松の女たち」・地図「元禄時代の大坂」・図版目録・文楽小事典付載
	近松「心中天の網島」の世界— その悲劇構造の解明を中心として—	研究	有川恵穂		日本文藝研究	第27巻 第2号	①昭和50年6月 ④関西学院大学日本文学会
	日本の伝統は生きている 古典は消えて行く、されど—豊 沢仙系の「楼門」	芸談	武智鐵二		月刊78	第1巻 第2号	①昭和50年7月 ④鎌倉書林 ③(2) 豊竹古鞠太夫(山城少掾)と(4) 豊沢仙系の「河庄」
	古典は消えて行く、されど * 豊沢仙系の「楼門」				底本・武智歌舞伎	③文楽舞踊	①昭和54年8月 ④三一書房
	古典は消えて行く、されど—撰 津大掾の十種香	芸談	武智鐵二		月刊78	第1巻 第5号	①昭和50年10月 ④鎌倉書林 ③「紙屋内」竹本撰津大掾の語り方
	古典は消えて行く、されど * 撰津大掾の「十種香」				底本・武智歌舞伎	③文楽舞踊	①昭和54年8月 ④三一書房
	心中天網島	鑑賞	大鋸時生・三村 幸一		文楽—鑑賞のために—		①昭和50年10月 ④保育社 ③カラーボックス338
	近松の世話物について 近松の描いた女性 近松と大阪の風土	研究	松崎仁 森修 横山正		近松		①昭和50年10月 ④角川書店 ③鑑賞日本古典文学29
	桐竹勘十郎 * ほめてくれない師匠	芸談	吉田留三郎	(2) 桐竹勘十郎	人生万ざい		①昭和50年11月 ④朝日新聞社 ③三和会の頃の役
	「心中重井筒」と「冥途の飛 脚」「心中天の網島」を比べて	考察	飯田好美 藤本ひとみ		駒沢短大国文	第6号	①昭和50年12月 ④駒沢短期大学国文科研究室 ③夏季課題研究
	心中天網島 細見	参考	富田鉄之助		季刊「歌舞伎」	第31号	①昭和51年1月 ④松竹株式会社演劇部 ③特集〈廓と歌舞伎〉

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	おさんー『心中天の網島』	評論	水上勉		近松物語の女たち		①昭和52年5月 ④中央公論社 ③雑誌「ミセス」に昭和50年1月～51年12月間に連載の一部
	文楽名作鑑賞 心中天網島	解説 梗概	山田庄一		文楽入門		①昭和52年6月 ④文研出版 ③文研の芸能鑑賞シリーズ
					文楽		①平成2年1月 ④ぎょうせい ③伝統芸能シリーズ3。『文楽入門』の改訂版
	「河庄」で観客魅了	劇評	内山美樹子		文楽 二十世紀後期の輝き— 劇評と文楽考—		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部 ③昭和52年9月東京国立劇場小劇場所演。初出＝「読売新聞」昭和52年9月16日
	原作でもない『天網島』の通し	劇評	武智鐵二		演劇界	第35巻 第10号	①昭和52年10月 ④演劇出版社 ③昭和52年9月東京国立劇場小劇場所演
					底本・武智歌舞伎	③文楽舞踊	①昭和54年8月 ④三一書房
	文楽の一年	劇評	山口廣一		演劇年鑑	78	①昭和53年3月
	七七年の文楽	劇評	内山美樹子		演劇年報	一九七八年版	①昭和53年4月 ④早稲田大学坪内博士記念演劇博物館 ③昭和52年9月東京国立劇場小劇場所演（一言）と女流義太夫豊竹団司と豊沢小住の「時雨の炬燵」について
	一九七七年の文楽				文楽 二十世紀後期の輝き— 劇評と文楽考—		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部
	『心中天網島』一遊女の誇り—	研究	大沢吉博		文章の解釈—本文分析の方法—		①昭和52年11月 ④東京大学出版会
	みちゆき勝手解釈	鑑賞	富岡多恵子		文芸展望	第20号	①昭和53年1月 ④筑摩書房
					近松浄瑠璃私考		①昭和54年1月 ④筑摩書房
	ドラマとしての心中 *みちゆき勝手解釈				別冊歴史読本	第20巻 第46号	①平成7年11月 ④新人物往来社 ③特別増刊江戸コレクション・江戸の心中
	『心中天の網島』の悲劇性	研究	川崎毓男		兵庫医科大学誌	第6巻 第2号	①昭和53年3月 ④兵庫医科大学

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	『心中天の網島』覚書	研究	諏訪春雄		前進座	第2号	①昭和53年3月 ④前進座
	関西劇信 波乃久里子の奮闘	劇評	大鋸時生		演劇界	第36巻 第7号	①昭和53年7月 ④演劇出版社 ③昭和53年6月京都府立文化芸術会館所演（短評）
	初期義太夫節における詞の意義	研究	横山正		語文研究	第46号	①昭和53年12月 ④九州大学国語国文学会
	「心中天網島」—その改作ものをめぐって—	研究	桜沢与志美		国文白百合	10号	①昭和54年3月 ④白百合女子大学国語国文学会
	「天網島」その原作と改作	鑑賞	吉永孝雄		朝日座プログラム		①昭和54年4月 ④文楽協会
	関西劇信 久しぶりで賑わう話題	劇評	大鋸時生		演劇界	第37巻 第6号	①昭和54年6月 ④演劇出版社 ③昭和54年4月朝日座所演
	『心中天の網島』—作品紹介—	梗概 解釈 図版	諏訪春雄		近松門左衛門		①昭和54年6月 ④集英社 ③図説日本の古典16。近松主要作品解題（諏訪春雄）・近松年譜（曲田純子・横山まり子）付載 ①平成1年1月新装版
	人形浄瑠璃とは何か	評論	武智鐵二		定本・武智歌舞伎	③文楽舞踊	①昭和54年8月 ④三一書房 ③昭和51年3月大東急記念文庫文化講座講演録「近松門左衛門の世界」より

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	心中天の網島	書下 し	田中澄江		女殺油地獄		①昭和55年1月 ④学習研究社 ③現代語訳日本の古典17。「日本の人形芝居」（三隅治雄）・「近松門左衛門の世界」（諏訪春雄）・「近松にみる悲劇性」（ドナルド・キーン）・「文楽の魅力」（山田庄一）・「義太夫語りの舞台話」（(4)竹本津太夫）・「近松作品の旅」（神谷次郎）・「近松名作小事典」「図版目録」付載
							①平成14年4月 ④学習研究社 ③学研M文庫。『現代語訳・日本の古典17 女殺油地獄』の書下し部分のみの文庫化
284	「心中天の網島」の原作と改作	研究	横山正		国立劇場文楽公演解説書	第52回	①昭和55年2月 ④国立劇場事業部
	密度濃い「甘輝館」	劇評	内山美樹子		文楽 二十世紀後期の輝き— 劇評と文楽考—		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部 ③昭和55年2月東京国立劇場小劇場所演（短評）。初出＝「読売新聞」昭和55年2月15日
	近松とその改作ぞろい	劇評	如月青子		演劇界	第38巻 第3号	①昭和55年3月 ④演劇出版社 ③昭和55年2月東京国立劇場小劇場所演
	三 近松の世話浄瑠璃 2 作品評論 IV 心中天の網島	評論	藤野義雄		近松と最盛期の浄瑠璃		①昭和55年4月 ④桜楓社
	心中天の網島（河庄の段・紙屋 内の段・大和屋の段）	解説	横山正		文楽 近松門左衛門の世界		①昭和55年8月 ④日本コロムビア ③レコード別冊解説書、(5)竹本織大夫（(9)源太夫）・鶴沢清治による素浄瑠璃（昭和52年6月14日（河庄）・5月24日（紙屋内）・3月17日（大和屋）、東京日本都市センターホール）録音、詞章・「近松の世界」（5）竹本織大夫（(9)源太夫）・「完成に寄せて」鶴沢清治・「（総論）近松の浄瑠璃」付載
	近松十二選 心中天の網島	研究	諏訪春雄		演劇界	第39巻 第1号	①昭和56年1月 ④演劇出版社
	第二部 近松 第五章 近松十二選 第九節 心中天の網島				近世芸能史論		①昭和60年10月 ④笠間書院

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	近松世話浄るりの主人公たち	随筆	向井芳樹		国立劇場文楽公演解説書	第56回	①昭和56年2月 ④国立劇場事業部
	鑑賞ガイド 狂言豆知識 *大阪の遊郭と遊女の階級 *大阪の遊郭の掟 *商家の奉公人の身分構成	鑑賞	戸部銀作				
569	近松名作集 世話物に人気 「天網島」で重厚な舞台	劇評	内山美樹子		文楽 二十世紀後期の輝き— 劇評と文楽考—		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部
	近松世話物三部制	劇評	桜井弘		演劇界	第39巻 第4号	①昭和56年4月 ④演劇出版社 ③昭和56年2月東京国立劇場小劇場所演
	文楽、この一年	劇評	内山美樹子		演劇界	第39巻 第14号	①昭和56年12月 ④演劇出版社 ③昭和56年2月東京国立劇場小劇場所演（一言）
					文楽 二十世紀後期の輝き— 劇評と文楽考—		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部
	八一年の文楽	劇評	内山美樹子		演劇年報	一九八二年版	①昭和57年5月 ④早稲田大学坪内博士記念演劇博物館 ③昭和56年2月東京国立劇場小劇場所演
	一九八一年の文楽				文楽 二十世紀後期の輝き— 劇評と文楽考—		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部
	近松の世話浄瑠璃—その悲劇性 の考察—	研究	諏訪春雄		学習院大学文学部研究年報	第27輯	①昭和56年3月 ④学習院大学文学部
	第二部 近松 第三章 近松の世話浄瑠璃—そ の悲劇性の考察—				近世芸能史論		①昭和60年10月 ④笠間書院
	愚かな神々の世界—近松「心中 天網島」における聖と俗	研究	佐々木久春		総合科目研究紀要		①昭和56年3月 ④秋田大学教育学部
					近松文芸の研究		①平成11年2月 ④和泉書院 ③研究叢書234
284	演者が語る義太夫鑑賞の手引 (8) 心中天網島—河庄の段—	芸談		(4) 竹本津大 夫	邦楽と舞踊	第32巻 4号	①昭和56年4月 ④邦楽と舞踊出版社
	近世の名句名言333 【心中天の網島】	鑑賞	原道生		國文學 解釈と教材の研究	第26巻 10号	①昭和56年7月 ④學燈社 ③7月臨時増刊号。特集〈日本の名句名言666〉

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	心中天の網島	解説	原道生		鑑賞日本の古典	16近松集	①昭和57年4月 ④尚学図書 ③作品解説・本文・口語訳・註釈・鑑賞・解説、参考文献解題（平田澄子）、近松世話浄瑠璃登場人物一覧、近松略年譜付載、小学館発売
	心中嫌い 近松座の「心中天網島」を演出して	評論 参考	田中澄江 高瀬精一郎		悲劇喜劇	第35巻 第8号	①昭和57年8月 ④早川書房 ③特集〈近松門左衛門〉
	心中天の網島の〈おさん〉 義理の女	鑑賞	鳥居フミ子		國文學 解釈と教材の研究	第27巻 13号	①昭和57年9月 ④學燈社
	「心中天網島」中之巻の時間について	研究	大笹吉雄		悲劇喜劇	第35巻 第10号	①昭和57年10月 ④早川書房
259	心中天の網島	研究	廣末保		古典を読む	第3巻 心中天の網島	①昭和58年3月 ④岩波書店 ③全段（節章あり）を詳細に研究
					廣末保著作集	第9巻 心中天の網島	①平成12年7月 ④影書房
					古典を読む 心中天の網島		①平成9年5月 ④岩波書店 ③同時代ライブラリー304
	若手の勉強の場	劇評	松永吉史		邦楽と舞踊	第34巻 5号	①昭和58年5月 ④邦楽と舞踊出版社 ③昭和58年3月地方公演評
	浪花の町「天網島」恋模様	随筆	福田雅子		文楽友の会通信	No.84	①昭和58年9月 ④文楽協会
284	改作された『天の網島』	鑑賞	松崎仁		朝日座プログラム		①昭和58年10月 ④文楽協会
	「おあん物語」の音便について—「心中天の網島」と対比しつつ	研究	栗山俊彦		学術研究 国語・国文学編	第32号	①昭和58年12月 ④早稲田大学教育学部
	心中天の網島	解説	諏訪春雄		研究資料日本古典文学	第10巻 劇文学	①昭和58年12月 ④明治書院 ③「概括」「成立および概観」「梗概」「意義」「諸本・翻刻」「参考文献」より成る
	桐竹勘十郎 この一年	芸談	(2) 桐竹勘十郎		文楽	第2号	①昭和59年2月 ④「文楽」編集部 ③粉屋孫右衛門について

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	紙・髪・神—心中天の網島—	研究	信多純一		国立劇場文楽公演解説書	第68回	①昭和59年2月 ④国立劇場
					近松の世界		①平成3年7月 ④平凡社
	鑑賞ガイド	鑑賞	岡田聰		国立劇場文楽公演解説書	第68回	①昭和59年2月 ④国立劇場
	説得力ある「天網島」	劇評	内山美樹子		文楽 二十世紀後期の輝き— 劇評と文楽考—		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部 ③昭和59年2月東京国立劇場小劇場所演（短評）。初出＝ 「読売新聞」昭和59年2月22日
	文楽劇信 実り薄い近松再演	劇評	富岡泰		演劇界	第42巻 第4号	①昭和59年4月 ④演劇出版社 ③昭和59年2月東京国立劇場小劇場所演
	文楽のこの一年 国立文楽劇場の新築開場	劇評	内山美樹子		演劇界	第42巻 第13号	①昭和59年12月 ④演劇出版社 ③昭和59年2月東京国立劇場小劇場所演（一言）
					文楽 二十世紀後期の輝き— 劇評と文楽考—		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部
	豊松清十郎の死を悼む	劇評	内山美樹子		演劇界	第43巻 第1号	①昭和60年1月 ④演劇出版社 ③昭和59年2月東京国立劇場小劇場所演、（4）豊松清十郎のおさん
					文楽 二十世紀後期の輝き— 劇評と文楽考—		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部
259、642	師匠春秋 * 馬を射る（一） 三味線の巻 * 師匠春秋（五） つばめラブコール * 三人組 語り物あれこれ * 「河庄」 きのうきょう	芸談	高木浩志	（4）竹本越路 大夫	四代竹本越路大夫		①昭和59年3月 ④淡交社 ③（4）豊沢仙糸の「河庄」の拳 ③（2）豊竹古鞠太夫（山城少掾）の小春 ③勉強会での演目
	心中天の網島	解説 梗概	諏訪春雄		日本古典文学大辞典	第3巻	①昭和59年4月 ④岩波書店



上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	若手向上会と仇討狂言禁止	芸談	田結莊哲治	(4) 竹本津大 夫	文楽三代 竹本津大夫聞書		①昭和59年4月 ④大阪書籍 ③朝日カルチャーブックス35。昭和21年10月28日若手向上会のこと
	第三部 文楽の芸—その伝承 * 西風 * 現在残っているもの	研究	高木浩志		文楽の芸		①昭和59年5月 ④東京書籍 ③政太夫風
	第四部 文楽の芸—その修業 * 名人の芸談から・歴戦の太夫達						③地合中心の演目
	第五部 文楽の芸—その表現 * 人形の表現＝二代桐竹勘十郎の話	芸談		(2) 桐竹勘十郎			③孫右衛門・おさん
	第四章 心中を斬る—心中物中心に そのⅢ『心中天の網島』	批評	田中澄江		近松門左衛門という人		①昭和59年10月 ④日本放送出版協会
	近松を考える—研究の現在と展望 * 『心中天の網島』の方法	対談	廣末保／信多純—		國文學 解釈と教材の研究	第30巻 2号	①昭和60年2月 ④學燈社 ③特集〈近松・語りの世界劇場〉
					廣末保著作集	第12巻 対談集	①平成10年4月 ④影書房
	2 劇として * 心中とは何か—近松心中劇の記号論的考察—	研究	篠田浩一郎		國文學 解釈と教材の研究	第30巻 2号	①昭和60年2月 ④學燈社 ③特集〈近松・語りの世界劇場〉
	ドラマとしての心中 * 心中とは何か—近松心中劇の記号論的考察—				別冊歴史読本	第20巻 第46号	①平成7年11月 ④新人物往来社 ③特別増刊江戸コレクション・江戸の心中
	四、古住大夫誕生 * DDTとGHQ	解説	(7) 竹本住大夫・和多田勝		文楽説き語り 言うて暮しているうちに		①昭和60年4月 ④創元社 ③頭注部分に解説あり
	主な登場人物 近松の改作物	演出 研究	土田衛		国立文楽劇場文楽公演解説書	第7回	①昭和60年4月 ④国立劇場
	「ゆかりの地」あれこれ	史跡	田結莊哲治				
	七世竹本住大夫誕生	劇評	富岡泰		演劇界	第43巻 第6号	①昭和60年5月 ④演劇出版社 ③昭和60年4月国立文楽劇場所演

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	八五年の文楽	劇評	内山美樹子		演劇年報	一九八六年版	①昭和61年5月 ④早稲田大学坪内博士記念演劇博物館 ③昭和60年4月国立文楽劇場所演（一言）
	一九八五年の文楽				文楽 二十世紀後期の輝き— 劇評と文楽考—		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部
	文楽の名作 七〇 心中の陰で泣く人たち 『心中天網島』小春治兵衛	入門	権藤芳一		文楽の世界		①昭和60年6月 ④講談社
	『心中天網島』の主題—絶対的 愛の賛歌—	研究	白倉一由		近松の浄瑠璃		①昭和60年8月 ④近代文芸社 ③口語訳・註釈・近松略年譜付載、「心中天網島」の全 段他所収
	浄瑠璃史論稿（17） （六）近松表現史Ⅶ 『国性爺合戦』論（2）～『鍵 権三』『天網島』（1）	研究	青木正次		藤女子大学国文学雑誌	第36号	①昭和61年2月 ④藤女子大学・藤女子短期大学国語国文学会
	『心中天の網島』を読んで	感想	西岡美保子		文芸	第17号	①昭和61年3月 ④園田学園女子短期大学国文学会
	『曾根崎心中』と『心中天網 島』の間	研究	首藤裕子		愛知女子短期大学国語國文	第2号	①昭和61年3月 ④愛知女子短期大学国語国文学会
	心中天の網島	書下 し	田中澄江＝訳		田中澄江の心中天の網島		①昭和61年3月 ④集英社 ③わたしの古典17。創美社＝編。語注・鑑賞・「わたく しと近松」・解説（内山美樹子）・参考図（穂積和夫） 付載

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	近松門左衛門の人と作劇法 鼎談 今、近松を演じて * 和事と風 * 原作と書替え	解説 鼎談	戸部銀作 (5) 竹本織大 夫 (9) 竹本 源太夫・ (2) 中村扇雀 (4) 坂田藤 十郎)・水落潔		演劇界	第44巻 第8号	①昭和61年7月 ④演劇出版社 ③7月臨時増刊、歌舞伎名作シリーズ I 「近松門左衛門の 世界」
	近松名作のアンゲル * 心中天の網島	鑑賞	松井俊諭				
	愛と死の讃歌—近松の詞章	研究	諏訪春雄				
	近松芸能散歩—ゆかりの地をめぐって	史跡	田結莊哲治=文 /生駒尚己=写 真/松葉健=イ ラスト				
	近松における「心中」の意義— 『心中天の網島』を手懸りとして	研究	遠山敦		日本思想史叙説	第3集	①昭和61年7月 ④ペリかん社
	舞台上で小言を食う	芸談	田結莊哲治	(2) 吉田玉五 郎	文楽 人形の魅力		①昭和61年8月 ④大阪書籍 ③朝日カルチャーブックス66。「紙治」 ③ (3) 吉田文五郎(難波掾)の小春の教え
	代役をさせてもらった幸せ						
	浄瑠璃史論稿 (18) (六) 近松表現史Ⅶ 『心中天網島』 (2) 一さほど にもないこと一	研究	青木正次		藤女子大学国文学雑誌	第37号	①昭和61年9月 ④藤女子大学・藤女子短期大学国語国文学会
	おさんの女心を、しみじみと 「ゆかりの地」あれこれ	芸談 史跡	川崎一朗 田結莊哲治	(5) 鶴沢燕三	国立文楽劇場文楽公演解説書	第16回	①昭和61年10月 ④国立劇場
	文楽劇信 「近松名作集」大阪御目見得	劇評	富岡泰		演劇界	第44巻 第12号	①昭和61年11月 ④演劇出版社 ③昭和61年10月国立文楽劇場所演

上演資料集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	第八章 太夫様式 六節 竹本染太夫	研究	茂手木潔子		義太夫節の様式展開		①昭和61年11月 ④アカデミア・ミュージック ③井野辺潔・横道萬里雄・他＝著。「天網島時雨炬燵」の「紙屋内」
	第一二章 口伝情報集成 * 風の研究	資料	垣内幸夫	(8) 竹本綱太夫・(10) 竹沢弥七			
	* 河庄の解説			(2) 野沢喜左衛門			
	楽譜《天網島時雨炬燵・紙治内》より	採譜	山口修				③(8) 竹本綱太夫・(10) 竹沢弥七＝演奏 ③(4) 竹本越路太夫・(2) 野沢喜左衛門＝演奏
	近松について 鑑賞ガイド	随筆 鑑賞	篠田正浩 岡田聰		国立劇場文楽公演解説書	第79回	①昭和62年2月 ④国立劇場
259	役名一かしら名対照表	演出			国立劇場上演資料集	259	①昭和62年2月 ④国立劇場調査養成部芸能調査室
	高い悲劇的純度「心中天網島」	劇評	内山美樹子		文楽 二十世紀後期の輝き— 劇評と文楽考—		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部 ③昭和62年2月東京国立劇場小劇場所演（短評）。初出＝「読売新聞」昭和62年2月12日
	近松物上演のむつかしさ	劇評	松井今朝子		演劇界	第45巻 第4号	①昭和62年3月 ④演劇出版社 ③昭和62年2月東京国立劇場小劇場所演
	『心中天の網島』における死の意味	研究	清水教子		愛知女子短期大学國語國文	第3号	①昭和62年3月 ④愛知女子短期大学国語国文学会
	「心中天網島」—女同士の義理について—	研究	吉岡美保		群馬県立女子大学国文学研究	第7号	①昭和62年3月 ④群馬県立女子大学国語国文学研究室 ③第6回国語国文学会秋季大会研究発表要旨
	『心中天の網島』—小春とおさん—	研究	宮山奈美		駒澤短大國文	第17号	①昭和62年3月 ④駒澤短期大学國文研究会
	いまはあなたしか愛せない—文楽鑑賞のために— 浄瑠璃の女たち	鑑賞	高木浩志 田辺聖子		地方公演プログラム		①昭和62年10月 ④文楽協会 ③昭和63年3月地方公演プログラムに再掲
	「心中天網島」—見どころ・聞きどころ—	鑑賞	戸部銀作		文化庁移動芸術祭文楽公演プログラム		①昭和62年10月
	この公演に登場する『かしら』について	資料	吉田文雀				
	現代に通じる近松浄瑠璃の世界	鑑賞	田中優子				

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	Ⅲ音で楽しむ名曲の数々 1 語りの面白さ	鑑賞	茂手木潔子		文楽 声と音と響き		①昭和63年1月 ④音楽之友社 ③太兵衛の念仏
	2 緊迫感あふれる終結部						③「大和屋の段」
	『心中天網島』—おさんの果たした役割—	研究	犬飼澄子		愛知女子短期大学國語國文	第4号	①昭和63年3月 ④愛知女子短期大学国語国文学会
	「心中天の網島」と十夜法要	研究	小山一成		立正大学國語國文	第24号	①昭和63年3月 ④立正大学国語国文学会
					近松浄瑠璃の研究		①平成12年10月 ④双文社出版 ③「『心中天の網島』と十夜法要」・「再考・『心中天の網島』と十夜法要」（『立正大学国語国文』第32号・平成7年3月）を補訂・改稿
	世話物 心中天の網島	解説	藤野義雄		近松名作事典		①昭和63年5月 ④桜楓社 ③「近松の生涯と作劇」「近松略年譜」付載
	近松世話物の諸本の考察 (一)—『生玉心中』から『心中天の網島』—	研究	山根爲雄		女子大國文	第103号	①昭和63年6月 ④京都女子大学国文学会
					近松正本考		①平成16年11月 ④和泉書院 ③研究叢書322
	第四話 端場 * 生写朝顔話・笑葉	芸談	(5) 竹本織大夫 (9) 竹本源大夫・高木浩志		織大夫夜話 文楽へのいざない		①昭和63年7月 ④東方出版 ③「河庄」のハルフシ
	思いだすままに	随想	河野多恵子		国立劇場文楽公演解説書	第87回	①平成1年2月 ④国立劇場 ③(3) 吉田文五郎(難波掾)のおさん
	鑑賞ガイド 近松と改作	鑑賞 研究	岡田聰 廣末保				
	「炬燵」の不条理にも感動の拍手	劇評	内山美樹子		文楽 二十世紀後期の輝き— 劇評と文楽考—		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部 ③平成1年2月東京国立劇場小劇場所演。初出＝「読売新聞」平成1年2月14日
	共通項の無い「近松物の世界」	劇評	富岡泰		演劇界	第47巻 第3号	①平成1年3月 ④演劇出版社 ③平成1年2月東京国立劇場小劇場所演

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	八八年の文楽	評論	内山美樹子		演劇年報	一九八九年版 終刊号	①平成1年5月 ④早稲田大学坪内博士記念演劇博物館 ③平成1年2月東京国立劇場小劇場所演劇評について
	文楽の劇評について				文楽 二十世紀後期の輝き— 劇評と文楽考—		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部 ③「八八年の文楽」を改題
	心中もの 「心中天の網島」	梗概 解釈	鳥越文蔵		虚実の慰み 近松門左衛門		①平成1年3月 ④新典社
	I 近松の世話物 『心中天の網島』の上演をめ ぐって	研究	金井俊一郎・篠 田正浩・諏訪春 雄・高瀬精一 郎・富岡多恵 子・(2)中村 扇雀(4)坂 田藤十郎・中 山幹雄		近松劇への招待—舞台づくり と歌舞伎考—		①平成1年3月 ④學藝書林 ③こどもの城・近松座主催「青山円形劇場シンポジウ ム」(昭和61年3月4日)より
	心中天の網島の治兵衛	解説	諏訪春雄		國文學 解釈と教材の研究	第34巻 9号	①平成1年7月 ④學燈社 ③7月臨時増刊号。古典文学作中人物事典
	近松作品解釈の問題点 —「心 中天の網島」—	研究	信多純一		近松への招待		①平成1年11月 ④岩波書店 ③岩波セミナーブックス31
					近松の世界		①平成3年7月 ④平凡社
	『心中天の網島』ノート	研究	篠原進		青山語文	第20号	①平成2年3月 ④青山学院大学日本文学会
	「心中天の網島」と近松門左衛 門	研究	井上ゼミ		緑聖文芸	第21号	①平成2年3月 ④女子聖学院短期大学国語国文学会

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	近松の発見した世話<悲劇>の 意味 —「心中天の網島」によって	講演 鑑賞	廣末保		国文学研究資料館講演集（近 世演劇） 江戸人物読本	第11号 4 近松門左衛門	①平成2年3月 ④国文学研究資料館 ①平成3年10月 ④ペリかん社 ③武井協三＝編。近松主要作品解題・曾根崎心中/卯月紅 葉寺社めぐり地図・近松門左衛門略年譜（深谷大）・主 要参考文献（武井協三・深谷大）付載
	ドラマとしての心中 *近松の発見した世話<悲劇>の 意味				別冊歴史読本	第20巻 第46号	①平成7年11月 ④新人物往来社 ③特別増刊江戸コレクション・江戸の心中
	近松の発見した世話<悲劇>の 意味 —「心中天の網島」によって				廣末保著作集	第9巻 心中天の網島	①平成12年7月 ④影書房
	「心中天網島」	鑑賞 参考	高瀬精一郎		近松からの出発 いま歌舞伎 を考える		①平成2年9月 ④形象社 ③歌舞伎演出論、浄瑠璃の演出・芸談を引く ①平成7年5月 ④演劇出版社 ③新装版
	「心中天の網島」の演劇性— 『虚実』と『内・外』の観点か ら—	研究	金田文雄		広島女学院大学国語国文学誌	第20号	①平成2年12月 ④広島女学院大学日本文学会
	吉田箏助 *何でも芸の肥やしに	芸談	依光孝明	(3) 吉田箏助	芸談一四十八人・生きて演じ て		①平成3年5月 ④朋興社 ③読売新聞芸能部＝編。小春
	メディア・クチャーヒーゼに聞く グルジアの近松劇をめぐって	参考	利光哲夫	メディア・ク チャーヒーゼ	テアトロ	580号	①平成3年6月 ④テアトロ
	第三章 箏助の世界 *女方の人形の型	芸談	(3) 吉田箏助		頭巾かぶって五十年		①平成3年8月 ④淡交社 ③おさんの懐手
	心中天の網島	漫画	岸田恋＝画		マンガ近松名作集		①平成3年8月 ④河出書房新社 ③高野敏夫＝監修

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	グルジアの近松	参考	渡辺保		近松全集月報	16	①平成3年10月 ④岩波書店 ③グルジア共和国国立劇場の「心中天網島」を見て
	第二章 貴種流離譚伝承 道行譚の発生 第三章 古代文芸における物語性 “手づから飯匙をとりにて…”考 七 “愛想づかし”から“よがれ”の文学へ	研究	乗岡憲正		物語文学伝承論—物語性・民譚・芸能—		①平成3年10月 ④桜楓社
	近松門左衛門	研究	原道生		近松門左衛門		①平成3年11月 ④新潮社 ③新潮古典文学アルバム19。「近松門左衛門年譜」・ 「上演の多い近松門左衛門作品」・「近松門左衛門を読むための本」付載
	通れぬ戸口—近松世話物の場合—	研究	原道生		近世文学論叢 近松世話浄瑠璃の作劇法		①平成4年3月 ④明治書院 ③水野稔—編 ①平成25年11月 ④八木書店古書出版部
	淀川長治の歌舞伎案内 * 心中天網島	解説	淀川長治		広告批評	149号	①平成4年4月 ④マドラ出版
	『心中天の網島』雑感—節章と解釈—	研究	山根爲雄		女子大國文 近松正本考	第111号	①平成4年6月 ④京都女子大学国文学会 ①平成16年11月 ④和泉書院 ③研究叢書322
	文楽のことおさんのこと 「ゆかりの地」あれこれ	芸談 史跡	(6) 澤村田之助 田結莊哲治		国立文楽劇場文楽公演解説書	第48回	①平成4年11月 ④日本芸術文化振興会
	『河庄』が傑作	劇評	安土政夫		演劇界	第50巻 第13号	①平成4年12月 ④演劇出版社 ③平成4年11月国立文楽劇場所演
	「河庄」燕三の三味線に情	劇評	安土政夫		上方芸能	114号	①平成5年4月 ④『上方芸能』編集部 ③平成4年11月国立文楽劇場所演
	愛と死の曲—鎮魂「心中天網島」—	鑑賞	高瀬精一郎		悲劇喜劇	第45巻 第12号	①平成4年12月 ④早川書房 ③特集〈鎮魂歌のある舞台〉



上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	近松が描く女のドラマー『曾根崎心中』と『心中天の網島』	解説 鑑賞	向井芳樹＝文		別冊太陽 日本のこころ	No.80 文楽	①平成5年1月 ④平凡社
	近松浄瑠璃集 心中、道行の名場面を追う 浮世、この愛のかたち * 心中天の網島	鑑賞	諏訪春雄＝文・ 選／青木信二＝ 写真		鳩よ！	第11巻 第1号	①平成5年1月 ④マガジンハウス
	恋のためなぞ死にたくない ドラマとしての心中 * 恋のためなぞ死にたくない	鑑賞	田中澄江		別冊歴史読本	第20巻 第46号	①平成7年11月 ④新人物往来社 ③特別増刊江戸コレクション・江戸の心中
	近松門左衛門の『心中天の網島』における紙屋一家の崩壊の原因	研究	赤羽学		解釈	第39巻 第2号	①平成5年2月 ④解釈学会
	近松の魅力	随想	栗田勇		国立劇場文楽公演解説書	第102回	①平成5年2月 ④日本芸術文化振興会
	逆上と静寂の対照、見事	劇評	内山美樹子		文楽 二十世紀後期の輝き－ 劇評と文楽考－		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部 ③平成5年2月東京国立劇場小劇場所演。初出＝「読売新聞」平成5年2月9日
	心中へと誘うもの	劇評	富岡泰		演劇界	第51巻 第4号	①平成5年3月 ④演劇出版社 ③平成5年2月東京国立劇場小劇場所演
	平成4年度卒業研究レポート 近松の心中観 －『曾根崎心中』と『心中天の網島』から見た－	研究	松本えり香		昭和学院國語國文	第26号	①平成5年3月 ④昭和学院短期大学国語国文学会
	Ⅲ 近松門左衛門 世話浄瑠璃の作品 心中天の網島	解説	富田康之		元禄文学の開花Ⅲ 近松と元 禄の演劇	講座元禄の文 学 第4巻	①平成5年3月 ④勉誠社
	近松の表現2 * 詞章として 近松を「読む」 とはどういうことか	研究	青木正次				

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	紙屋治兵衛	梗概	近藤瑞男		カブキ101物語		①平成5年7月 ④新書館 ③渡辺保＝編
	「寺子屋」談義 *芸は死ぬまで勉強	芸談	後藤静夫	(7) 竹本住大 夫	文楽談義一語る・弾く・遣う		①平成5年8月 ④創元社 ③井野辺潔＝監修、義太夫研究会＝編著。「紙治」の三 五郎について ③「炬燵」の風について
	近松物と私 *「音」を遣う *原作どおりの近松物		桜井弘	(5) 竹本織大 夫 (9) 竹本 源太夫)			③「心中天網島」
	義太夫の「風」 *選択制の稽古		井野辺潔	豊竹咲大夫			③初役の「大和屋」
	「地色」の機微 *近松物と地色 *綱大夫師匠の思い出		内山美樹子	(5) 鶴沢燕三			③(8) 竹本綱大夫との「ちよんがれ」
	「人形芝居」を超えて *玉次郎師匠の思い出			(1) 吉田玉男			③吉田玉次郎の芸風
	もっとおもしろい文楽を *難しい二枚目の出		横山正＝聞き手 ／蒲生郷昭＝文 章化	(2) 桐竹勘十 郎			③治兵衛について
	I 作品の中の元禄 1 地域 *大坂 三、近松が描く遊里	考証	浅野晃		元禄文学の状況	講座元禄の文 学 第5巻	①平成5年10月 ④勉誠社
	伊達の「近八」に住・燕三の 「帯屋」	劇評	田結莊哲治		演劇界	第52巻 第2号	①平成6年2月 ④演劇出版社 ③平成6年1月国立文楽劇場所演
	二十一年ぶりの『喜内住家』上 演	劇評	宮辻政夫		上方芸能	118号	①平成6年7月 ④『上方芸能』編集部 ③平成6年1月国立文楽劇場所演（短評）
	小春「心中天網島」	鑑賞	(3) 吉田簀 助・山川静夫		文楽の女 吉田簀助の世界		①平成6年3月 ④淡交社 ③青木信二＝写真。平成28年8月新書版刊
	「心中天の網島」における女ど し	研究	鳥居フミ子		東京女子大学日本文学	第81号	①平成6年3月 ④東京女子大学学会日本文学部会
	第二章 近松門左衛門の世界 第六節 「心中天の網島」にお ける女同士				元禄浄瑠璃の展開		①平成15年2月 ④勉誠出版 ③「東京女子大学日本文学」第81号掲載文を改訂包含

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	おさんは何を確認したのか	鑑賞	板坂耀子		江戸の女、いまの女		①平成6年5月 ④葦書房
	第二部 近世演劇の周辺 年中行事と近世演劇 * 主人公の救済と年中行事 ----- 近松による浄瑠璃戯曲の形成 * 世話浄瑠璃の完成	研究	松崎仁		歌舞伎 浄瑠璃 ことば		①平成6年6月 ④演劇出版社 ③「十夜」について
	第三部 名作の鑑賞 世話物 心中天網島	解説	藤田洋・森西真弓		文楽ハンドブック		①平成6年12月 ④三省堂 ③平成15年3月改定版、平成23年2月第3版
	抄録 『心中天の網島』考	研究	森由加里		国文学報	第38号	①平成7年3月 ④尾道短期大学国文学会
	再考・「心中天の網島」と十夜 法要 ----- 『心中天の網島』と十夜法要	研究	小山一成		立正大学人文科学研究所年報 ----- 近松浄瑠璃の研究	第32号	①平成7年3月 ④立正大学人文科学研究所 ①平成12年10月 ④双文社出版 ③「『心中天の網島』と十夜法要」（『立正大学国語国文』第24号・昭和63年3月）・「再考・『心中天の網島』と十夜法要」を補訂・改稿
	近松をもっと世界へ	随筆	田中優子		NHK 日本の伝統芸能		①平成7年4月 ④日本放送出版協会 ③文楽鑑賞入門Ⅲ
	文楽見どころ聞きどころ 心中天網島—近松	鑑賞	廓正子		文楽入門 鑑賞へのいざない		①平成7年6月 ④淡交社 ③淡交ムック。水落潔＝指導、青木信二＝写真
	門左衛門が往く * 心中天網島・橋づくし	史跡			さえずり	23	①平成7年8月 ④近松応援団
	Ⅱ 人形浄瑠璃 10 人形浄瑠璃の作品 * (5) 心中天の網島	梗概 解説	鳥居フミ子		講座 日本の演劇	4近世の演劇	①平成7年8月 ④勉誠社 ③諏訪春雄・菅井幸雄＝編集

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	死もまた生の道程	鑑賞	諏訪春雄		別冊歴史読本	第20巻 第46号	①平成7年11月 ④新人物往来社 ③特別増刊江戸コレクション・江戸の心中 ③初出=『美と悪の伝統』（昭和44年・桜楓社）
	ドラマとしての心中 *道行のドラマツルギー		笠原信夫				
	*動かぬ道行一名残の橋づくし	研究	早川雅水				③初出=『国文鶴見』第7号（昭和47年3月・鶴見女子大学日本文学会）
	*心中のドラマツルギー		篠田正浩				③初出=『国文学 解釈と鑑賞』第39巻第11号（昭和49年9月・至文堂）
	*みちゆき勝手解釈	鑑賞	富岡多恵子				③初出=『舞台展望』第20号（昭和53年1月・筑摩書房）
	*近松にみる悲劇性		ドナルド・キーン・				③初出=現代語訳日本の古典17『女殺油地獄』（昭和55年1月・学習研究社）
	*心中とは何か—近松心中劇の記号論的考察—	研究	篠田浩一郎				③初出=『國文學 解釈と教材の研究』第39巻第11号（昭和49年9月・至文堂）
	*近松の発見した世話<悲劇>の意味	鑑賞	廣末保				③初出=『国文学研究資料館講演集（近世演劇）』第11号（平成2年3月・国文学研究資料館）
	*恋のためなぞ死にたくない		田中澄江				③初出=『鳩よ!』第11巻第1号（平成5年1月・マガジンハウス）
	名作現代語訳 心中天網島 付・近松の女たち	現代語訳	水上勉=訳				③初出=『グラフィック版日本の古典12 心中天網島』（昭和50年3月・世界文化社）
	「義理につまりてあはれ」とは	鑑賞	阪口弘之		国立劇場文楽公演解説書	第114回	①平成8年2月 ④日本芸術文化振興会
	新・綱大夫の襲名披露	劇評	福本和生		演劇界	第54巻 第4号	①平成8年4月 ④演劇出版社 ③平成8年2月東京国立劇場小劇場所演
	平成八年上半期の文楽公演	劇評	飯島満		歌舞伎 研究と批評	18	①平成8年12月 ④歌舞伎学会 ③平成8年2月東京国立劇場小劇場所演（短評）
	「心中天の網島」考 小春とおさんの義理について	研究	川村佳代子		國文研究	第41号	①平成8年3月 ④熊本女子大学国文談話会
	鑑賞『心中天網島』	鑑賞	山川静夫		NHK 日本の伝統芸能		①平成8年4月 ④日本放送出版協会 ③文楽鑑賞入門IV
	『心中天の網島』の「意見」と背景—構想を起点として	研究	富田康之		北海道大學文學部紀要	第45巻 1号（通巻第88号）	①平成8年8月 ④北海道大學文學部
	『心中天の網島』考—「意見」と背景—				海音と近松—その表現と趣向		①平成16年3月 ④北海道大学国書刊行会 ③北海道大学大学院文学研究科研究叢書4

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	心中天網島	梗概	里中満智子		心中天網島		①平成8年10月 ④中央公論社 ③マンガ日本の古典27
							①平成13年6月 ④中央公論新社 ③中公文庫。マンガ日本の古典27。令和3年5月ワイド版
	『心中宵庚申』の方法（二）	研究	白瀬浩司		国文学 言語と文芸	113号	①平成8年12月 ④国文学言語と文芸の会 ③『心中宵庚申』に近接する時期の作として比較
	別れの儀式 道行き―別れのプロセス	研究	田中優子		I S	第74号	①平成8年12月 ④ポーラ文化研究所
	近松と西鶴 一契約・説得・宙吊り― 第四章 町人物と世話物―経済 の問題	研究	葛綿正一		沖縄国際大学日本語日本文学 研究	第1巻 第1号	①平成9年1月 ④沖縄国際大学文学部
	淀川長治の文楽十選 心中天網島	鑑賞	淀川長治		広告批評	No.205	①平成9年5月 ④マドラ出版 ③特集〈淀川長治と吉田玉男の文楽入門〉
	小春の思い 「ゆかりの地」あれこれ	随想 史跡	時松孝文 田結荘哲治		国立文楽劇場文楽公演解説書	第67回	①平成9年7月 ④日本芸術文化振興会
	楽しめた呂・相生の「長町裏」	劇評	田結荘哲治		演劇界	第55巻 第12号	①平成9年10月 ④演劇出版社 ③平成9年7・8月国立文楽劇場所演
	《鼎談》 歌舞伎と文楽―『金閣寺』と 『河庄』をめぐって	対談	(1) 吉田玉 男・(5) 中村 富十郎・山田庄 一		国立劇場歌舞伎公演解説書	第205回	①平成9年11月 ④日本芸術文化振興会
	門左衛門が往く *おさんの墓	史跡			さえずり	32	①平成9年11月 ④近松応援団
	『心中天の網島』文献探索	文献 紹介	森川拓也		文献探索	1997	①平成10年3月 ④文献探索研究会
	第三部 近松の時代 V 心中天の網島	研究	鳥越文蔵		岩波講座 歌舞伎・文楽	第8巻 近松の時代	①平成10年5月 ④岩波書店
	錦糸襲名と見取り狂言の未来	劇評	富岡泰		歌舞伎 研究と批評	22	①平成10年12月 ④歌舞伎学会 ③平成10年5月30日国立文楽劇場『文楽素浄瑠璃の会』所 演（一言）
	近松の心中 道行と橋	研究	日暮聖		日本の美学	第28号	①平成10年12月 ④ペリかん社 ③特集〈橋 つなぐもの、わけるもの〉

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	小春 心中よしいきかたよし	鑑賞	鳥居フミ子		近松の女性たち		①平成11年7月 ④武蔵野書院 ③近松門左衛門年譜付載
	おさん 義理と愛のはざままで						
	公開講座特別講演 近世の演劇	鑑賞	ドナルド・キーン		大阪青山短期大学研究紀要	第25号	①平成11年12月 ④大阪青山短期大学 ③平成9年12月20日に行われた公開講座の記録
	『心中天の網島』小考	研究	深澤昌夫		日本文学ノート	第35号	①平成12年1月 ④宮城学院女子大学日本文学会
	文楽で聴く近松一心中天網島・ 冥途の飛脚・心中宵庚申	解説	内山美樹子		國文學 解釈と教材の研究	第45巻 2号	①平成12年2月 ④學燈社 ③特集〈江戸の劇空間—比較演劇の視点〉
	樋口一葉の『にごりえ』と近松 門左衛門の『心中天の網島』— その愛の形、行方—	研究	朴那美		東アジア日本語教育・日本文化研究	第2輯	①平成12年3月 ④東アジア日本語教育・日本文化研究学会
	文楽の名作ダイジェスト 心中天網島	解説	後藤静夫		NHK 日本の伝統芸能		①平成12年4月 ④日本放送出版協会 ③やさしい文楽鑑賞入門Ⅶ
	太宰治「おさん」論—『心中天 網島』との比較を中心として	研究	青木京子		阪神近代文学研究	第3号	①平成12年7月 ④阪神近代文学研究会
	心中と妻敵討	あら すじ	細窪孝		愛に生きた 江戸の女 明治 の女—近世から近代へ文学の 展開—		①平成12年8月 ④ふきのとう書房 ③初出=「獨樂」(平成8年)
	橋を巡る 桐竹紋寿にきく 「ゆかりの地」あれこれ	考証 芸談 史跡	田沢裕賀 森西真弓 田結莊哲治	桐竹紋寿	国立文楽劇場文楽公演解説書	第80回	①平成12年11月 ④日本芸術文化振興会
	世話狂言を手堅く	劇評	田結莊哲治		演劇界	第59巻 第1号	①平成12年12月(平成13年1月号) ④演劇出版社 ③平成12年11月国立文楽劇場所演
	重量感溢れる綱大夫・清二郎の 「引窓」	劇評	片山剛		上方芸能	139号	①平成13年3月 ④『上方芸能』編集部 ③平成12年11月国立文楽劇場所演
	足もとから見る<近松の世界>— 「踏みはづす」に注目して—	研究	深澤昌夫		歌舞伎 研究と批評	26	①平成12年12月 ④歌舞伎学会
	『心中天の網島』の構想—近松 の世界—	研究	小関輝巳		國文學論輯	第22号	①平成13年3月 ④国士館大学国文学会

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	「胸づくし」・「橋づくし」	鑑賞	阿部哲三		日本の美学	32	①平成13年4月 ④燈影舎 ③特集〈尽くし〉
	文楽の名作ダイジェスト 『心中天網島』	あら すじ	阿部俊夫		NHK 日本の伝統芸能		①平成13年4月 ④日本放送出版協会 ③文楽鑑賞入門Ⅷ
	五、文楽へのいざない * 文楽の女たち	芸談	桐竹紋壽		文楽・女方ひとすじ おつる から政岡まで		①平成13年9月 ④東方出版 ③小春
	文楽鑑賞ベストテン 其の一●ビギナーはやっぱり近 松門左衛門・部門、近松ベスト 5 『心中天網島』	入門	田中マリコ		文楽に連れてって！		①平成13年11月 ④青弓社
	治兵衛 『心中天網島』	芸談	(1) 吉田玉 男・山川静夫		文楽の男 吉田玉男の世界		①平成14年1月 ④淡交社 ③青木信二＝写真。平成28年8月『文楽の男 初世吉田玉 男の世界』と改題して新書版刊
	『心中天の網島』のおさん	鑑賞	大谷晃一		文楽の女たち		①平成14年2月 ④文藝春秋 ③文春新書228
	文楽の名作 * 心中天の網島	鑑賞	浦田健次郎＝監 修／児玉竜一＝ 編著		能楽 文楽 歌舞伎 日本の 伝統芸能への誘い		①平成14年8月 ④教育芸術社
	女の義理―心中天網島―	鑑賞	谷野優子		わくわく私の文楽		①平成14年9月 ④手鞠文庫
446	玉男芸話16	芸談	森西真弓＝聞き 手	(1) 吉田玉男	国立劇場上演資料集	446	①平成14年9月 ④日本芸術文化振興会
	心中天網島				吉田玉男文楽藝話		①平成19年9月 ④日本芸術文化振興会 ③国立劇場上演資料集増刊
	『心中天網島』の魅力	劇評	福本和生		演劇界	第60巻 第13号	①平成14年10月（11月号） ④演劇出版社 ③平成14年9月東京国立劇場小劇場所演
	二〇〇二年下半期の文楽	劇評	富岡泰		歌舞伎 研究と批評	31	①平成15年8月 ④歌舞伎学会 ③平成14年9月東京国立劇場小劇場所演
	夜明けの新聞の匂い 「道徳」の時間に見せたい『心 中天網島』	随想	曾野綾子		新潮45	第21巻 第11号	①平成14年11月 ④新潮社

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	特集〈彼女の場合の事件のきっかけ〉 小春とおさん 心中天網島一二種の生と死一	鑑賞	諏訪春雄		演劇界	第61巻 第9号	①平成15年7月（8月号） ④演劇出版社
	第五章 近松ものは字余り字足らずで、私嫌いでんねん 『心中天網島◎北新地河庄の段』通称〈河庄〉ほんまの義理人情を描いていて、「情」の浄瑠璃でんな	芸談	(7) 竹本住大夫		文楽のこころを語る		①平成15年8月 ④文藝春秋 ③七世竹本住大夫略年譜（山本千恵子＝構成）付載。平成21年1月文庫版
	劇場必携演目ダイジェスト24 * 心中天網島	あらすじ	松平盟子		劇場に行こう 文楽にアクセス		①平成15年10月 ④淡交社
	近松の成功と挫折ーモラルと本能 時代と世話 * 『心中天の網島』	鑑賞	田口章子		歌舞伎と人形浄瑠璃		①平成16年1月 ④吉川弘文館 ③歴史文化ライブラリー170
	* 『手首の問題』 * 閉じ込められた女 * メリハリ！	随筆	赤川次郎		人形は口ほどにものを言い  ----- 赤川次郎の文楽入門～人形は口ほどにものを言い		①平成16年1月 ④小学館 ③『本の窓』（平成12年3・4月合併号～平成15年5月号）連載分に加筆したもの ----- ①平成19年8月 ④小学館 ③小学館文庫
	『心中天の網島』 「名残の橋づくし」を歩く	史跡	永吉雅夫		アジア観光学年報	第5号	①平成16年4月 ④追手門学院大学文学部アジア文化学科



上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	第三部 世話物正本の校異 心中天の網島	研究	山根爲雄		近松正本考		①平成16年11月 ④和泉書院 ③研究叢書322。大阪大学国文学研究室蔵の正本（大坂山本九兵衛・九右衛門板）を底本に、天理大学附属図書館・大阪大学国文学研究室（鶴屋喜右衛門板）・京都大学附属図書館・山口大学附属図書館蔵の正本との相違
	第四部 語句雑考 *しく／＼泣てあたりしが *に。し。か *待て *ヤ。ヤ。（付 句切点）	語釈 研究					
	近松世話物の諸本の考察 （一）『生玉心中』から『心中天の網島』一	研究					③初出＝『女子大國文』第103号（昭和63年6月・京都女子大学国文学会）
	『心中天の網島』雑感一節章と 解釈一						③初出＝『女子大國文』第111号（平成4年6月・京都女子大学国文学会）
	「心中天の網島」考一紙屋治兵衛の自覚と「女同士の義理」	研究	早川久美子		同志社国文学	第61号	①平成16年11月 ④同志社大学国文学会
	『心中天網島』の改作に関する一考察一『双扇長柄松』・『中元噂掛鯛』・『置土産今織上布』について	研究	鈴木睦		大谷大学大学院研究紀要	第21号	①平成16年12月 ④大谷大学
	シリーズ・文楽まめ知識⑩ 囃子	演出	高木浩志		国立劇場文楽公演解説書	第149回	①平成16年12月 ④日本芸術文化振興会 ③「紙屋内」の幕開き
	文楽まめ知識 囃子				文楽に親しむ		①平成27年4月 ④和泉書院
	第三章 文楽的恋愛論～近松門左衛門の世界～ *身をひさぐ遊女の純愛 *「板挟み」の愛に悶える女と男	鑑賞	松平盟子		豊竹咲甫大夫と文楽へ行こう		①平成16年12月 ④旬報社 ③旬報社まんぼうシリーズ。豊竹咲甫大夫（（6）竹本織太夫）＝著、松平盟子＝協力
	文楽・知識の泉⑥	鑑賞	高木浩志		国立文楽劇場文楽公演解説書	第97回	①平成17年1月 ④日本芸術文化振興会
	初春一番の『沼津』	劇評	亀岡典子		演劇界	第63巻 第3号	①平成17年2月（3月号） ④演劇出版社 ③平成17年1月国立文楽劇場所演

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	だからこそ力量が	劇評	片山剛		上方芸能	156号	①平成17年6月 ④『上方芸能』編集部 ③平成17年1月国立文楽劇場所演
	みてすぐわかる心中天網島	鑑賞	国立文楽劇場普及養成課＝編		まんがでぶんらく	其ノ7	①平成17年3月 ④日本芸術文化振興会
	第二章 太夫・三味線・人形遣い * 吉田玉男	芸談	亀岡典子	(1) 吉田玉男	文楽ざんまい		①平成17年6月 ④淡交社 ③(1) 吉田栄三の治兵衛
	最終章 人間の心底を描き続ける文楽の世界 * 一人の男を愛した二人の女	鑑賞					
	世話物 心中天網島	解説	高木秀樹＝著／ 青木信二＝写真		あらすじで読む 名作文楽50		①平成17年7月 ④世界文化社 ③ほたるの本。平成27年9月加筆再構成した新版刊
	名作文楽50 心中天網島				文楽手帖		①平成26年8月 ④KADOKAWA ③角川ソフィア文庫。『あらすじで読む 名作文楽50』を加筆修正のうえ再構成したもの
	鑑賞の手引	鑑賞	高木浩志		内子座文楽公演プログラム	第9回	①平成17年8月 ④内子町教育委員会・内子座文楽公演実行委員会
	住大夫・錦糸と人形中堅の「河庄」	劇評	水落潔		演劇界	第64巻 第6号	①平成18年3月(4月号) ④演劇出版社 ③平成18年2月東京国立劇場小劇場所演
	『心中紙屋治兵衛』研究(上) (下)	研究	伊久留睦		文藝論叢	第66・67号	①平成18年3月・9月 ④大谷大學文藝學會
	第六章 芸能の興隆 * 心中天の網島 中之巻	解説	神田通子		日本古典への誘い100選	I	①平成18年9月 ④東京書籍 ③諏訪春雄・山折哲雄・芳賀徹・小松和彦＝監修。解説・構成・現代語訳・脚注・原文(抜粋)・学際の窓「巧みな文章と心情表現」(豊竹睦大夫)付載
	大阪の町と橋 文楽・知識の泉⑬	考証 鑑賞	松村博 高木浩志		国立文楽劇場文楽公演解説書	第104回	①平成18年11月 ④日本芸術文化振興会
	天の配剤の配役	劇評	亀岡典子		演劇界	第65巻 第1号	①平成18年12月(平成19年1月号) ④演劇出版社 ③平成18年11月国立文楽劇場所演
	紅葉は花か	劇評	片山剛		上方芸能	163号	①平成19年3月 ④『上方芸能』編集部 ③平成18年11月国立文楽劇場所演

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	第二部 異色対談 文楽と上方と伝統芸能 *私は関西弁が標準語やと思う てます	対談	(7) 竹本住大 夫	(7) 竹本住大 夫・(15) 片岡 仁左衛門	なほになほなほ 私の履歴書		①平成20年12月 ④日本経済新聞出版社 ③初出=「日本経済新聞」朝刊(平成19年1月4日)
	心中天の網島	現代 語訳	諏訪春雄=訳注		曾根崎心中・冥途の飛脚・心 中天の網島 現代語訳付き		①平成19年3月 ④角川学芸出版 ③角川ソフィア文庫51。本文・脚注・解説・あらすじ付 載
	対談1 竹本住大夫×わかぎゑ ふ	対談	わかぎゑふ	(7) 竹本住大 夫	NHK 日本の伝統芸能		①平成20年4月 ④日本放送出版協会 ③文楽入門。(1) 吉田玉男の治兵衛
	『心中天の網島』における義 理一小はるを中心に一	研究	谷口博子		京都語文	第15号	①平成20年11月 ④佛敎大学国語国文学会
					近松門左衛門作浄瑠璃の研究		①令和1年11月 ④佛敎大学国語国文学会 ③京都語文別冊
	文楽の道行・『心中天の網島』	鑑賞	森岡ハイツ・ 佐々木みよ子		Sophia linguistica	56	①平成20年 ④上智大学
	日本文学に見る「生と死」 「死」が許される条件—近松心 中浄瑠璃の場合—	研究	原道生		国文学 解釈と鑑賞	第74巻 8号	①平成21年8月 ④ぎょうせい ③至文堂=編。特集〈続・「生と死」を考える〉
	「死」が許される条件—近松心 中浄瑠璃の場合—				近松浄瑠璃の作劇法		①平成25年11月 ④八木書店古書出版部
	『心中天の網島』の魅力 文楽・知識の泉⑵	鑑賞	久保田敏子 高木浩志		国立文楽劇場文楽公演解説書	第116回	①平成21年10月 ④日本芸術文化振興会
	愛を描く名作二本	劇評	亀岡典子		演劇界	第68巻 第1号	①平成22年1月 ④演劇出版社 ③平成21年11月国立文楽劇場所演
	愁いの眼差し、錦の乱れ	劇評	森田美芽・片山 剛		上方芸能	175号	①平成22年3月 ④『上方芸能』編集部 ③平成21年11月国立文楽劇場所演
	〈近松心中考〉 心中天網島	鑑賞			演劇界	第67巻 第11号	①平成21年11月 ④演劇出版社
	心中天の網島	解説 加工 訳	大伴茫人		近松心中 加工訳		①平成21年12月 ④梧桐書院 ③あおぎり文庫。さらさら読む古典1
	世話物の味『心中天網島』	鑑賞 芸談		(7) 竹本住大 夫	NHK 日本の伝統芸能		①平成22年4月 ④日本放送出版協会 ③竹本住大夫の文楽入門

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	小春 心中天網島 河庄	解説 芸談	青木信二・小川 知子・出上実＝ 写真／高木浩志 ＝文	桐竹紋壽	文楽人形之美 桐竹紋壽写真 集		①平成22年6月 ④草場書房
	映像の中の芸能(33) 『心中天網島』	参考	藤井康生		上方芸能	178号	①平成22年12月 ④『上方芸能』編集部
	セリフの持つ表現力ー近松世話 物における脇役の事例の検証ー	研究	原道生		文学 近松浄瑠璃の作劇法	第12巻 第2号	①平成23年3月 ④岩波書店 ③特集〈人形浄瑠璃・文楽のことばへ〉 ①平成25年11月 ④八木書店古書出版部
	近松世話浄瑠璃における改作に ついて	研究	大橋正叔		文学 近松浄瑠璃の成立	第12巻 第2号	①平成23年3月 ④岩波書店 ③特集〈人形浄瑠璃・文楽のことばへ〉 ①令和1年6月 ④八木書店古書出版部
	第六章 第五期完成期 第三節 紙屋治兵衛／きいの国 や小はる心中天の網島	研究	白倉一由		近松世話悲劇の研究		①平成24年6月 ④岩田書院 ③「近松略年譜」付載
	近松門左衛門の作品をしてみよ う *世話物 『心中天の網島』	入門	大石学＝監修		近松門左衛門ー上方の人情を えがいた浄瑠璃作家ー		①平成25年2月 ④ミネルヴァ書房 ③よんでしらべて時代がわかる ミネルヴァ日本歴史人 物伝
	『心中天の網島』における女同 士の義理の構造	研究	長野仁美		広島女学院大学大学院言語文 化論叢	第16号	①平成25年3月 ④広島女学院大学大学院言語文化研究科
	近世メディアから捉える「家」 に関する庶民の心性ー『河内屋 可正日記』・『心中天の網島』 を用いてー	研究	中臺希実		明治大学大学院学内GP〈他大 学大学院との研究交流プログ ラム〉	2012	①平成25年3月 ④明治大学情報コミュニケーション研究会
	心中天網島考	芸談	豊竹咲大夫		近松門左衛門名作文楽考	②心中天網島	①平成25年4月 ④尾崎彰廣 ③DVD & BOOK。付録DVD「天満紙屋内より大和屋の段」 (平成23年12月15日東京・紀尾井小ホール「豊竹咲大夫 の会」素浄瑠璃演奏を収録(三味線は(6)鶴沢燕 三))・DVD「心中天網島 上ノ巻 北新地河庄の段・ 音で聴く解説」(昭和36年NHKで収録された(8)竹本 綱太夫と(10)竹沢弥七の解説)。発売は講談社
	心中天網島ガイド	解説 鑑賞	尾崎彰廣				

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
642	『心中天網島』、そのとき近松は。	随筆	篠田正浩		国立文楽劇場文楽公演解説書	第130回	①平成25年4月 ④日本芸術文化振興会
	文楽・知識の泉39	演出	高木浩志		文楽に親しむ		①平成27年4月 ④和泉書院 ③「文楽・知識の泉39」を中心に加筆
	咲大夫の紙屋内	劇評	宮辻政夫		演劇界	第71巻 第6号	①平成25年6月 ④演劇出版社 ③平成25年4月国立文楽劇場所演
	凡人たちの非凡な跳躍	劇評	福本のりこ・片山剛		上方芸能	189号	①平成25年9月 ④『上方芸能』編集部 ③平成25年4月国立文楽劇場所演
	丸本離れを危惧する	劇評	河内厚郎		歌舞伎 研究と批評	52	①平成26年9月 ④歌舞伎学会 ③平成25年4月国立文楽劇場所演
	縦糸と横糸	随筆	福井栄一		国立劇場文楽公演解説書	第183回	①平成25年5月 ④日本芸術文化振興会
	密度の濃い『陣屋』	劇評	内山美樹子		演劇界	第71巻 第7号	①平成25年7月 ④演劇出版社 ③平成25年5月東京国立劇場小劇場所演
	第五章 一生が「修行」一人への道	随筆	高遠弘美		七世竹本住大夫 限りなき藝の道		①平成25年9月 ④講談社 ③(4) 竹本越路太夫の「北新地河庄の段」の稽古
	第十章 住大夫三夜 * 第二夜 『心中天網島』 「北新地河庄の段」	鑑賞					
	『心中天の網島』から考察する町人の「家」に対する心性、および死生観について	研究	中臺希実		情報コミュニケーション研究論集	8	①平成26年2月 ④明治大学大学院
	資料紹介 斎藤清二郎画「文らく小道具」	資料	水田佳穂		歌舞伎 研究と批評	51	①平成26年3月 ④歌舞伎学会 ③特集〈歌舞伎と近代美術〉。早稲田大学演劇博物館が購入した斎藤清二郎画「文らく小道具」資料の紹介。 『天網島時雨炬燵』 「紙屋内の段」の机と三つ具足の一部
	勘十郎・玉女が解説する私が好きな演目ベスト10 心中天網島 紙屋治兵衛	解説 芸談	吉田玉女 (2) 吉田玉男)		文楽へようこそ		①平成26年4月 ④小学館 ③(3) 桐竹勘十郎・吉田玉女(2) 吉田玉男) = 著 ③小春・治兵衛の比翼塚
	吉田一輔さんが案内する文楽ゆかりの名所 露天神社(曾根崎心中)	史跡	吉田一輔				

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	紙屋治兵衛（『心中天網島』北 新地河庄の段）	芸談 グラ ビア	(3) 桐竹勘十 郎／ヒロセマリ コ＝撮影		なにわの華 文楽へのいざな い 人形遣い桐竹勘十郎		①平成26年5月 ④淡交社 ③小佐田定雄・くまざわあかね＝構成・編集協力
	紀の国屋小春（『心中天網島』 北新地河庄の段）						
	三部制遵守の弊害	劇評	富岡泰		演劇界	第73年 第5号	①平成27年4月（5月号） ④演劇出版社 ③平成27年2月東京国立劇場小劇場所演
	特別対談 二代目としての決意	対談	(2) 吉田玉 男・森西真弓		文楽をゆく		①平成27年4月 ④小学館 ③(2) 吉田玉男襲名記念。心中物の出
	伝界となまいだ坊主	研究	林久美子		国立文楽劇場文楽公演解説書	第138回	①平成27年4月 ④日本芸術文化振興会 ③紙屋治兵衛
	襲名記念インタビュー *二代目吉田玉男	芸談	坂東亜矢子＝聞 き手	(2) 吉田玉男			
	二代目玉男襲名	劇評	宮辻政夫		演劇界	第73巻 第6号	①平成27年5月（6月号） ④演劇出版社 ③平成27年4月国立文楽劇場所演（短評）
	二代目玉男の誕生	劇評	福本のりこ		上方芸能	197号	①平成27年9月 ④『上方芸能』編集部 ③平成27年4月国立文楽劇場所演
	『心中天の網島』考 一登場人物の言動から見る心 理一	研究	今西絵里夏		近世文学研究	第7号	①平成27年12月 ④文学史探究の会
	『心中天の網島』考 その2 一近松の世話物四作品との比 較一	研究	今西絵里夏		近世文学研究	新編第1号	①平成28年12月 ④文学史探究の会
	『時雨の炬燵』成立考一三代竹 本綱太夫の添削活動について一	研究	神津武男		早稲田大学高等研究所紀要	第9号	①平成29年3月 ④早稲田大学高等研究所
	『心中天の網島』における罪業 と救済	研究	栗原剛		山口大学哲学研究	24巻	①平成29年3月 ④山口大学哲学研究会
	三段目 艱難から希望へ * 文楽の「赦し」	鑑賞	(6) 豊竹呂太 夫・片山剛		文楽・六代豊竹呂太夫 五感 のかなたへ		①平成29年3月 ④創元社 ③(6) 豊竹呂太夫のおさんの解釈
	江戸時代の大坂でこんな事件が ありました。まず観てみよう、 この10作 * 心中天網島	入門	高木秀樹＝監修 ／渡邊肇＝写真		文楽のすゝめ		①平成30年1月 ④実業之日本社 ③(6) 竹本織太夫＝監修

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	近松門左衛門の心中物における「恋の手本」の意味―『曾根崎心中』を中心に―	考察	三浦茉優		KYORITSU REVIEW	第46号	①平成30年2月 ④共立女子大学大学院文芸学研究所
	近松門左衛門の文章の音楽性をめぐって―《心中天の網島》〈大和屋の段〉を題材として	研究	茂手木潔子		聖徳大学言語文化研究所論叢	25	①平成30年3月 ④聖徳大学
	3章 勝手に決定！TOP5 クズ男&キャラ立ち女 パーチャルインタビュー *紙屋治兵衛 『心中天網島』より	入門	上島カンナ=マンガ/文楽協会=協力		マンガでわかる文楽		①平成31年3月 ④誠文堂新光社 ③佳山泉=執筆協力、人形浄瑠璃文楽座=協力
	◎比較 近松の世話物と西洋の市民悲劇	研究	岩井眞實		東アジア古典演劇の伝統と近代		①平成31年3月 ④勉誠出版 ③アジア遊学232。毛利三彌・天野文雄=編
	かしらのいろいろ	資料			国立劇場文楽公演解説書	第208回	①令和1年9月 ④日本芸術文化振興会 ③「河庄の段」について
	技芸員にきく *鶴澤清治 上演作品への招待	芸談 鑑賞	五十川晶子=聞き手 児玉竜一	鶴沢清治			
	当代の「河庄」「日向嶋」	劇評	富岡泰		演劇界	第77巻 第11号	①令和1年10月(11月号) ④演劇出版社 ③令和1年9月東京国立劇場小劇場所演
	近松の声を聴くために～陶醉させてくれない心中物～	鑑賞	木ノ下裕一		国立文楽劇場文楽公演解説書	第156回	①令和1年11月 ④日本芸術文化振興会 ③「大和屋の段」について
	技芸員にきく *豊竹咲大夫	芸談	坂東亜矢子=聞き手	豊竹咲大夫			
	『忠臣蔵』完結	劇評	宮辻政夫		演劇界	第78巻 第1号	①令和1年12月(令和2年1月号) ④演劇出版社 ③令和1年11月国立文楽劇場所演
	近松門左衛門の描く遊女たち―恋愛成就譚としての心中物―	研究	久松亜未		中京大学文学会論叢	8	①令和4年3月 ④中京大学文学会
	「登場するかしら」から『心中天網島』の舞台	資料 参考			国立文楽劇場文楽公演解説書	第167回	①令和4年7月 ④日本芸術文化振興会 ③粉屋孫右衛門
	技芸員にきく *吉田玉也	芸談	坂東亜矢子=聞き手	吉田玉也			